

東金市第 3 次総合計画の総括

(※令和 2 年 2 月時点)

令和 2 年 2 月
東 金 市

<目 次>

1. 総論	1
(1) 総括	1
(2) 関連する指標の推移	3
2. 基本方針ごとの総括	5
第1章 こころ豊かなまちづくり - 生涯学習・教育・文化・国際交流 -	
(1) 総括	5
(2) 関連する指標の推移	7
(3) 計画期間中の主な取り組み	10
第2章 ぬくもりのあるまちづくり - 健康・福祉 -	
(1) 総括	11
(2) 関連する指標の推移	13
(3) 計画期間中の主な取り組み	15
第3章 うるおいのあるまちづくり - 環境 -	
(1) 総括	16
(2) 関連する指標の推移	18
(3) 計画期間中の主な取り組み	19
第4章 活力のあるまちづくり - 産業・雇用 -	
(1) 総括	20
(2) 関連する指標の推移	22
(3) 計画期間中の主な取り組み	26
第5章 安全で快適なまちづくり - 都市基盤 -	
(1) 総括	27
(2) 関連する指標の推移	29
(3) 計画期間中の主な取り組み	30
第6章 計画の実現に向けて	
(1) 総括	31
(2) 関連する指標の推移	34
(3) 計画期間中の主な取り組み	36
参考資料	37

1. 総論
 (1) 総括

東金市第3次総合計画



本市では、21世紀を迎えるに当たり、活力にあふれ豊かさを実感できる地域社会を築いていくため、平成13年度を初年度とし、平成32（令和2）年度を目標年次に定めた、「人・自然 ときめき交感都市 東金」を将来像とする東金市第3次総合計画を策定しました。20年間にわたる構想の実現に向け、1期から4期までそれぞれ5年間の基本計画を策定し、基本構想に掲げた5本の施策大綱と構想の実現に向けた各種施策に取り組みました。

この間、バブル経済後の長期経済不況、情報化の著しい進展、東日本大震災等の大規模災害と大きな行政課題の発生、また、人口減少と少子高齢化が全国の自治体にとってそれぞれの存続に向けた深刻な課題となるなど、地方行財政を取り巻く状況は刻々と変化してきました。

本市では、第1期基本計画において「東金アリーナ」や「ふれあいセンター」などの開設により、基本構想でめざす人口増に向けた施設整備等を進めましたが、景気低迷などによる急激な財政状況の悪化、あるいは周辺市町との合併協議の破綻により、事業の推進に柔軟に対応ができませんでした。市町村合併の破綻を受け策定した第2期基本計画では、自立都市として歩むため行財政の建て直し期間と位置づけ、第2次東金市財政リフレッシュプランにより行財政改革を進め、財政破綻を回避し将来に向けての財源を確保しました。第3期基本計画では「東千葉メディカルセンター」や「みのりの郷東金」の開設などといった将来へ向けての種まきを実施し、その流れを踏まえ第4期基本計画では限りある行政資源、特に限られた財源の有効活用を図りつつ、人口減少社会で生き残るための「地方創生」という新たな考えに基づき「まちの活性化」を進めるために必要となる施策・事業の展開に努めてきました。

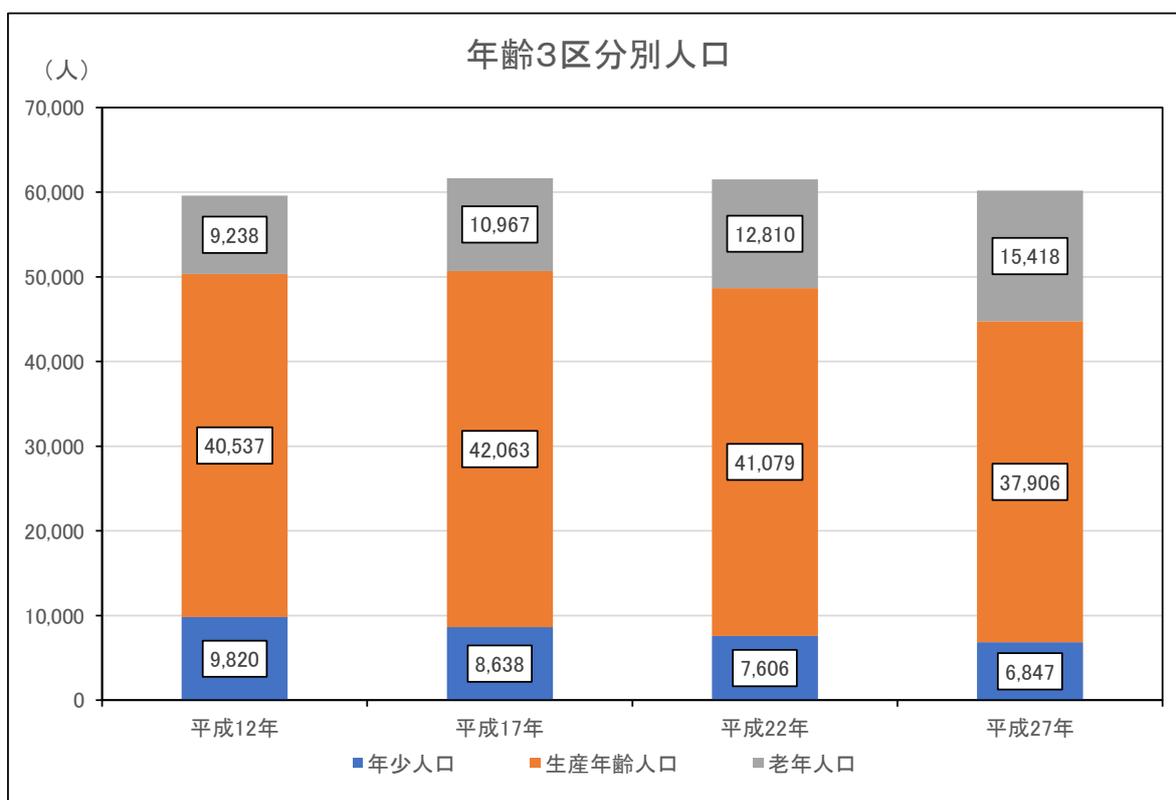
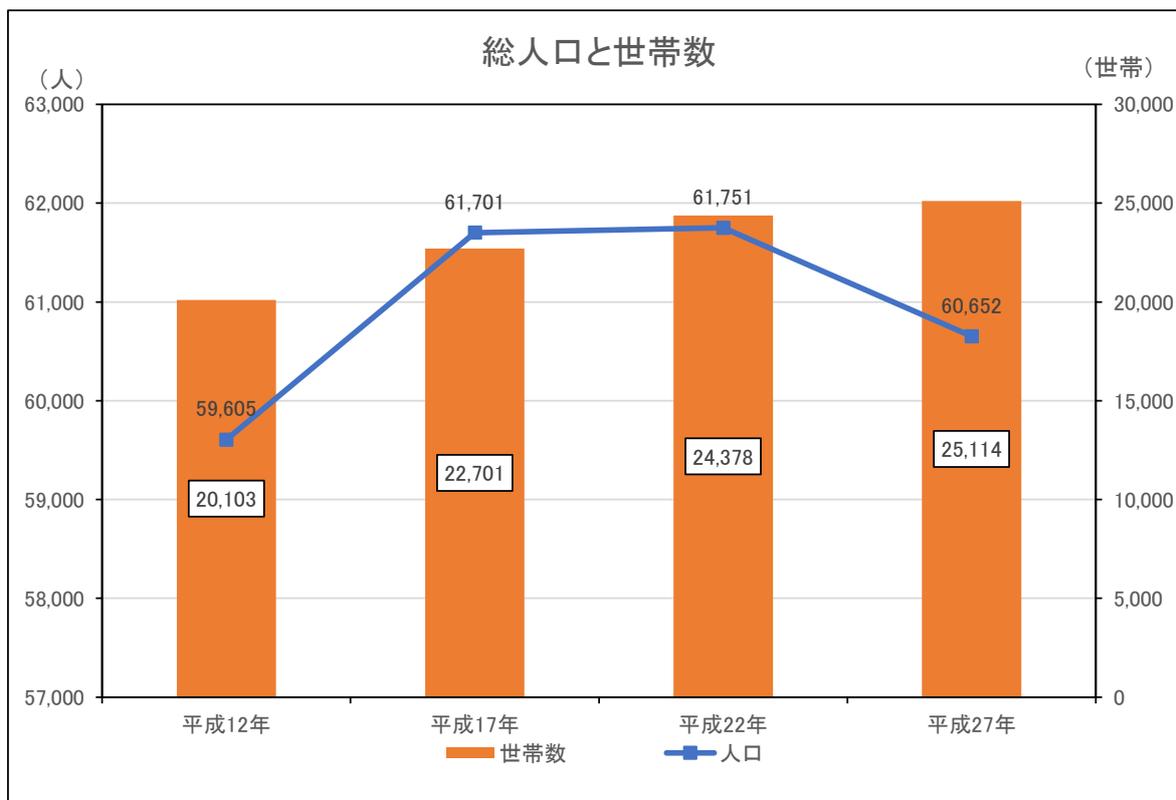
第4期基本計画に掲げた主要施策（今後の展開）について、令和元年度末時点の見込みで全143施策中、141施策が着手済みであり、担当課による自己点検・評価の達成度は平均74.5点（100点満点中）となっていることから、概ね順調に取り組むことができています。成果指

標（課長目標）については、平成 30 年度までの調査結果では、既に目標を達成している指標が 26 項目（全体の 34.2%）、第 4 期基本計画策定時から数値が向上している指標が 26 項目（全体の 34.2%）となっており、全体の約 70%の指標が上昇していることから、一定の効果が現れていると言えます。

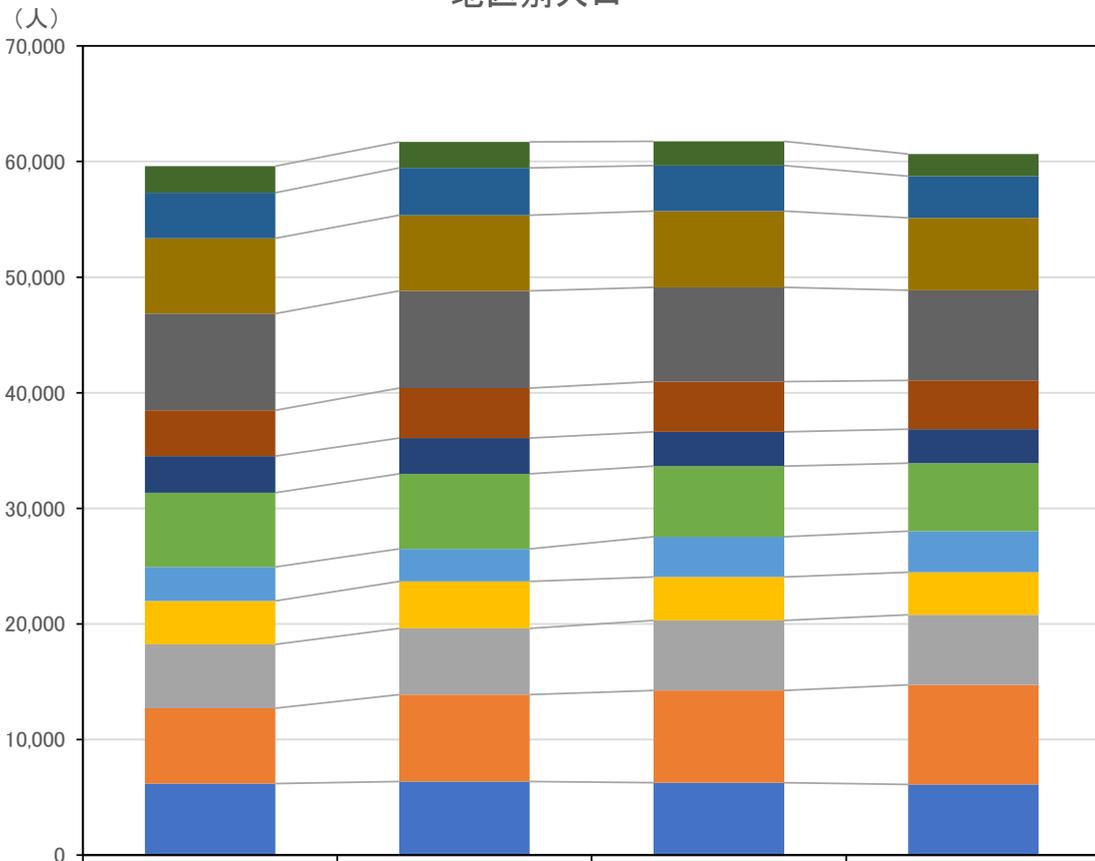
また、計画期間前の平成 10 年 10 月に実施した市民アンケートでは、「住みやすいまちだと感じている市民の割合」が 30.4%でしたが、令和元年 7 月に実施した市民アンケートでは、37.2%とやや増加しております。

また、基本構想に想定している目標人口（令和 2 年度に 75,000 人）については、平成 20 年の 61,885 人（常住人口）をピークに減少に転じ、直近の国勢調査確定値で 60,652 人、令和元年 11 月 1 日時点では 58,491 人（常住人口）となっていることから、目標人口の達成は難しい状況となっています。これは、自然増減数（出生や死亡による増減）と社会増減数（転入や転出などによる増減）が、ともに減少していることに起因しますが、あわせて少子高齢化により人口の年齢別構成が変化していることが問題となっており、地方創生施策などを中心に各種施策に創意工夫をこらした取組みを進めていく必要があります。

(2) 関連する指標の推移 (国勢調査より)



地区別人口



	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
■ 源	2,304	2,256	2,108	1,927
■ 福岡	3,946	4,080	3,914	3,595
■ 豊成	6,505	6,562	6,618	6,268
■ 正気	8,357	8,397	8,142	7,792
■ 大和	3,975	4,316	4,339	4,209
■ 丘山	3,169	3,102	2,978	2,941
■ 公平	6,406	6,493	6,112	5,894
■ 日吉台	2,942	2,817	3,481	3,550
■ 城西	3,774	4,073	3,762	3,674
■ 嶺南	5,503	5,719	6,050	6,080
■ 田間	6,530	7,505	7,980	8,600
■ 東金	6,194	6,381	6,267	6,122

2. 基本方針ごとの総括

東金市第3次総合計画では、5つの施策大綱と「構想の実現に向けて」を定めており、各項目の取組内容や指標の達成度をもとに総括を行います。

第1章 ころ豊かなまちづくりー生涯学習・教育・文化・国際交流ー

【まちづくりの基本的方向】

市民一人ひとりが、生涯にわたり文化、スポーツに親しむまち。子どもから高齢者まで全ての市民が、生きがいを持ち、多くの市民とのふれあいの中で育っていく、ころ豊かなまちをめざします。

【計画項目】

1. いつでも学び親しめる生涯学習・生涯スポーツの振興
2. 豊かなころを育む学校教育の充実
3. 次代を担う青少年の健全育成
4. 地域に根ざした文化の振興
5. 市民の国際理解を深める交流の促進

(1) 総括

■ 生涯学習・生涯スポーツ

「生涯学習」については、公民館や図書館を中心に各種講座やイベントを実施していますが、図書館の利用者数は増加しているものの、公民館の利用者数はサークル活動の減少などから減少しています。その他の生涯学習機会として、城西国際大学と協働した公開講座の実施や、生涯学習の情報提供として情報誌「ときめき」を発行しています。施設整備の面で、耐震補強について中央公民館は実施しましたが、図書館は実施していません。

また、「生涯スポーツ」については、平成12年度に「東金アリーナ」を開設し、利用者数が開設当初から倍増していることから、必要なスポーツ施設の整備と機会の充実は一定の成果があったと考えられます。

■ 学校教育

「学校教育」について、小中学校では「確かな学力の育成」の面で、「学力向上プランニングシート」の活用などにより、千葉県標準学力検査において千葉県平均値と同等以上となっており、成果がでています。また、特別支援教育支援員やALTの配置など教育環境の拡充は進んでいます。幼稚園においては、3歳児保育の拡充や預かり保育の実施・拡大などを行ってきていますが、少子化の影響もあり利用者の減少が課題となっています。施設整備については、正気幼稚園、城西幼稚園、東小学校、正気小学校、東金中学校の改築等を実施しました。また、各施設の耐震化、トイレの洋式化、さらに普通教室に空調設備の設置と、よりよい教育環境の整備に取り組んできましたが、各小学校の給食室の老朽化が激しく、学校給食衛生基準に合致していない状況となっているため、改修方法の検討が必要となっています。

■ 青少年の健全育成

「青少年の健全育成」については、市の主催事業として「あづみの探検隊」、「ジュニアリーダー養成講座」等を実施し、また、青少年相談員連絡協議会など関係団体と連携を図りながらイベント等を実施していますが、関係団体の担い手である地域のリーダーの高齢化、若

年層の減少、認知度の低さなどによる後継者不足や青少年育成活動の担い手となる人材の育成、イベント参加者数の減少などの課題が生じています。

■ 文化の振興

「文化の振興」については、指定文化財等の看板設置、歴史に関する講演会を開催するとともに、インターネット上で文化財を閲覧できる「東金市デジタル歴史館」の整備も進み、市内外の人々が東金の歴史文化を知る機会が確保され、今後の活用が期待されています。また、東金文化会館は開館より約30年が経過し、施設（照明・吊物・空調・防火設備等）の更新を迫られており、施設設備の改修を計画的に進める必要があります。

■ 国際交流・国内交流

「国際交流」については、東金国際交流協会により29カ国の留学生が在籍する城西国際大学との市民交流事業が行われています。また、リュエイユ・マルメゾン市との姉妹都市連携関係を保持・継続するため書簡を中心とした交流が続けられています。

「国内交流」については、長野県安曇野市と、あづみの探検隊等の小学生間の交流事業、災害時の支援、安曇野市をホームタウンとする松本山雅FCの東金キャンプ及び物産販売などの交流が活発に行われており、引き続きさまざまな分野での交流が期待されています。

[評価・指標（第4期基本計画）]

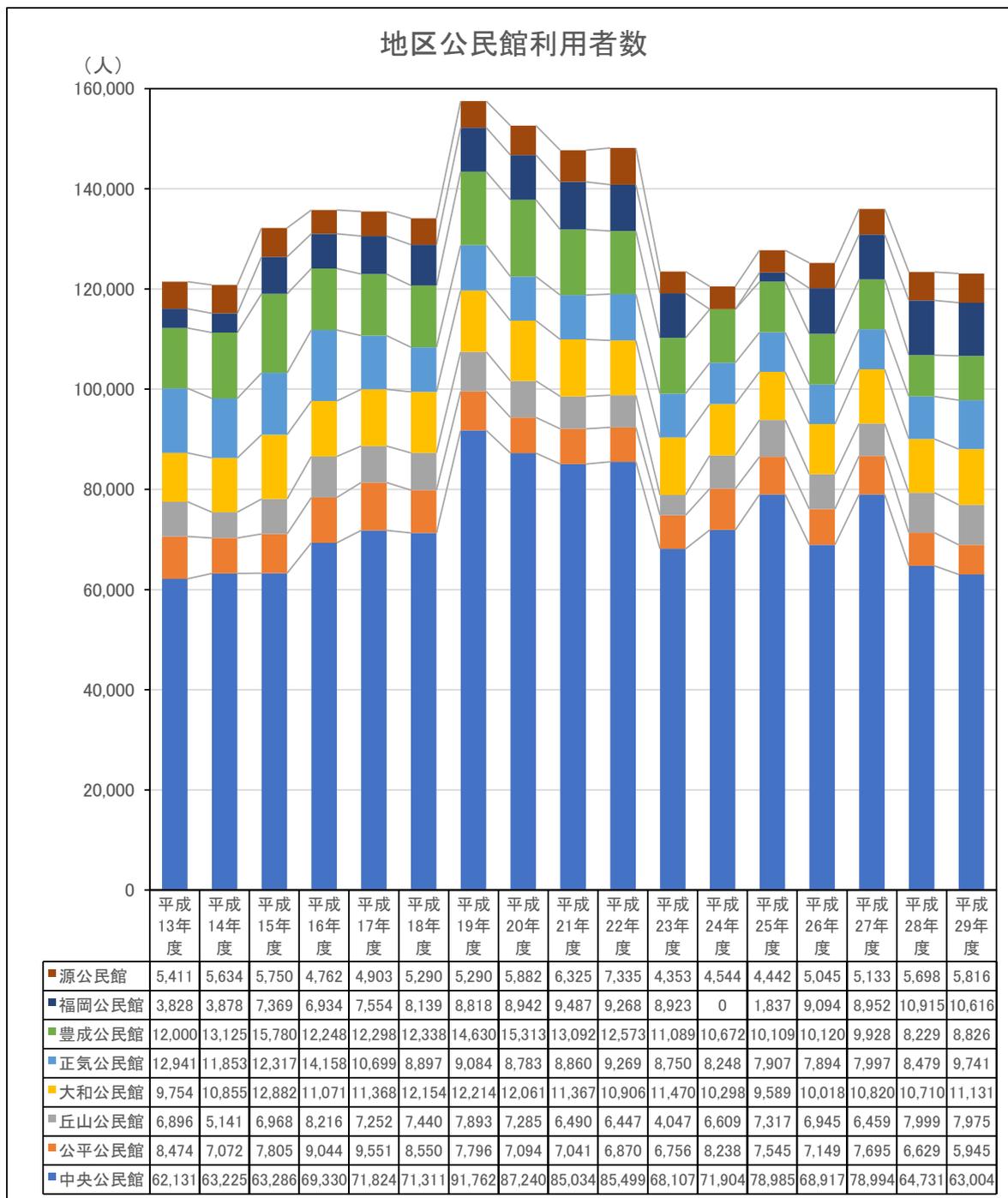
主要施策（今後の展開）については、25施策の全てが着手済みであり、担当課による自己点検・評価の達成度は平均81.0点（100点満点中）となっています。一方、成果指標（課長目標）については、計画策定時から数値が向上している指標の割合が64.7%に留まっていますが、市民アンケートでの生涯学習・スポーツや学校教育に対する満足度は高く、一定の取り組みの成果が現れていると言えます。また、学校教育に対する重要度は常に高いことから、次代を担う子どもたちのよりよい教育環境を確保するため、引き続き、教育環境の充実に努めていく必要があります。

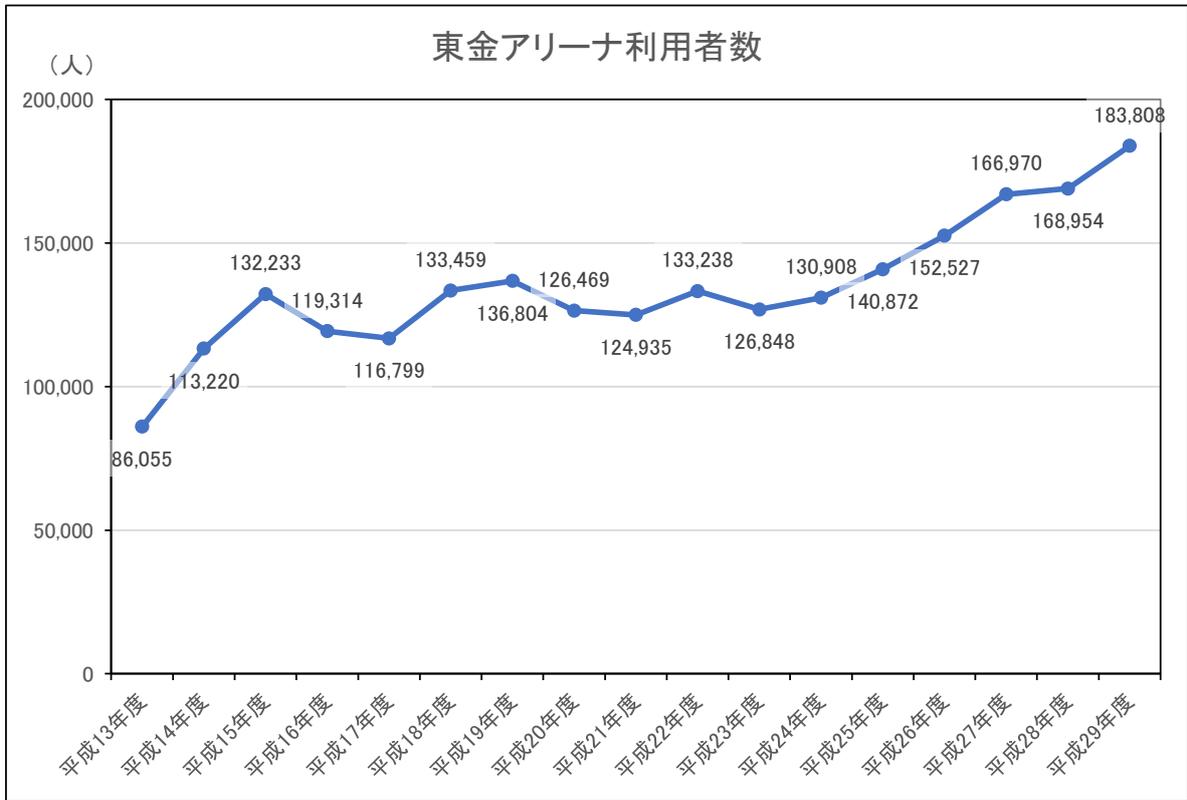
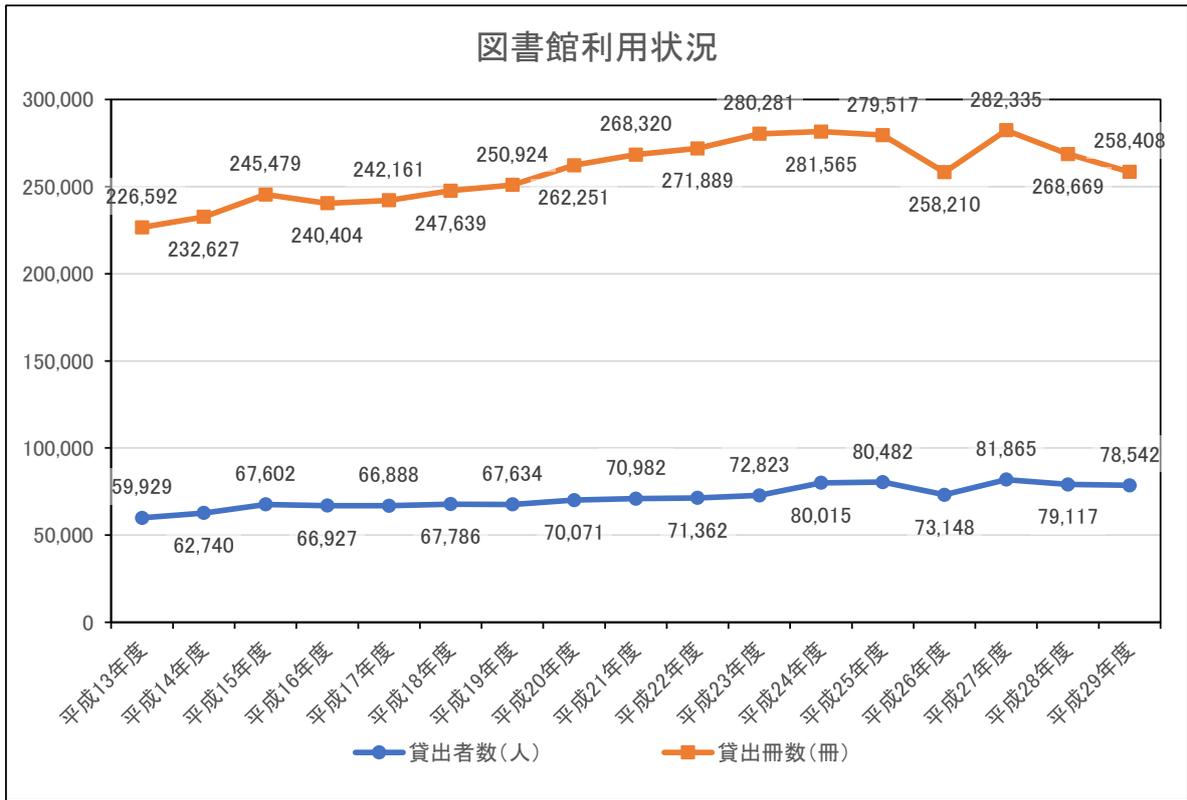
<成果指標（課長目標）>

	目標値達成	目標値未達成 だが数値向上	目標値未達成	計
1. いつでも学び親しめる生涯学習・生涯スポーツの振興	1	6	2	9
2. 豊かなこころを育む学校教育の充実	2	1	2	5
4. 地域に根ざした文化の振興	1	0	2	3
計	4	7	6	17

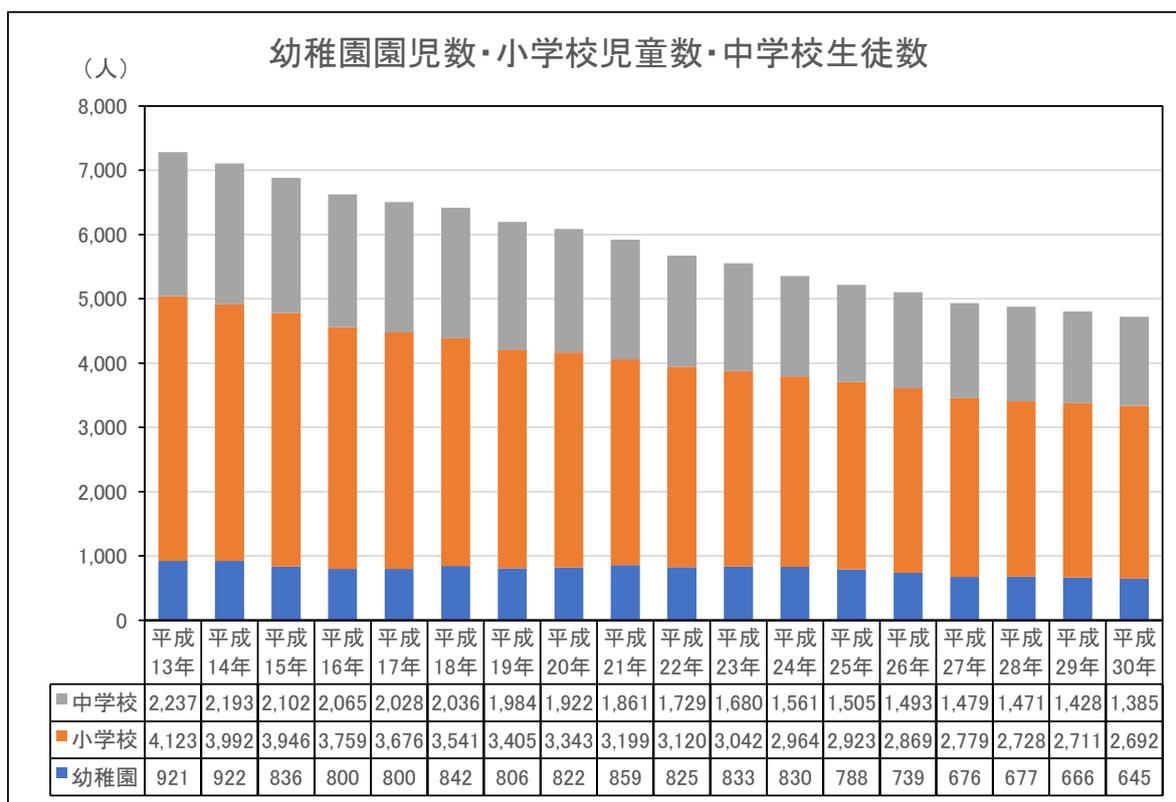
(2) 関連する指標の推移 (東金市統計書より)

■ 生涯学習・生涯スポーツ

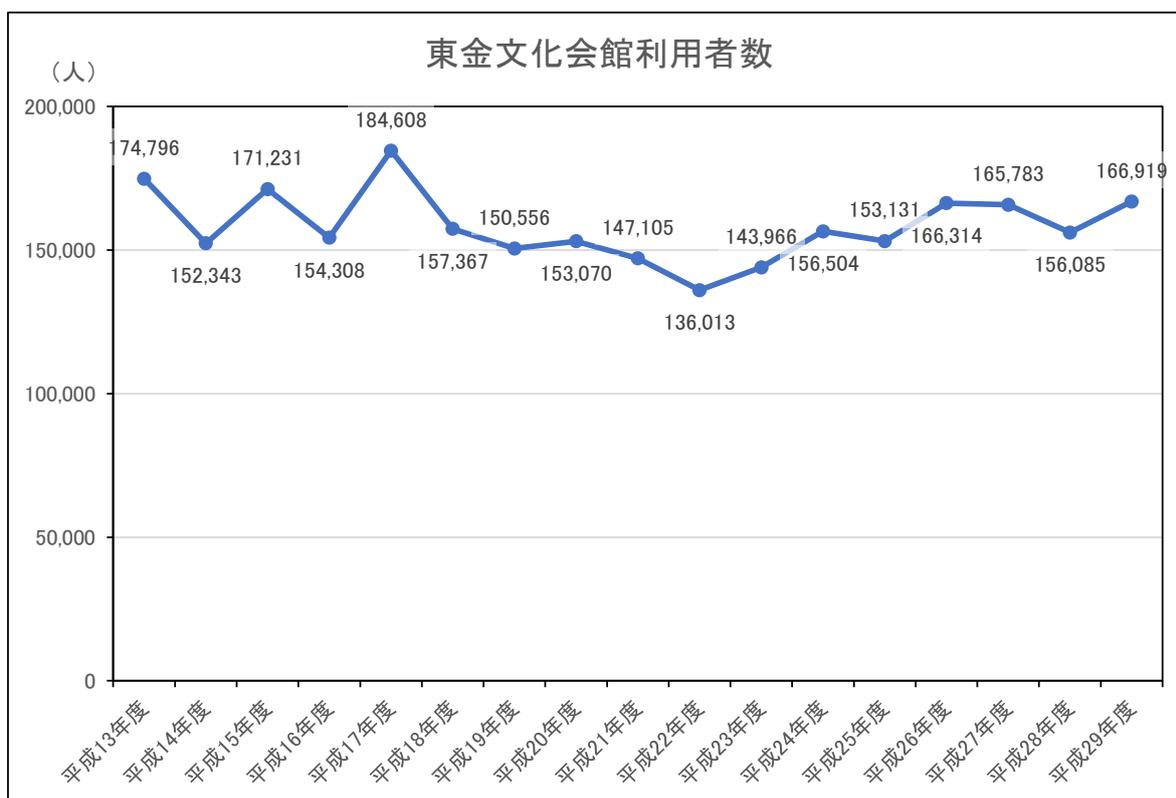




■ 学校教育



■ 文化の振興



(3) 計画期間中の主な取組み

1. いつでも学び親しめる生涯学習・生涯スポーツの振興		
H13 市民参加型のスポーツイベントの実施	H14 東金アリーナ陸上競技場の開設	H17 千葉きらめき総体の開催
H20 図書館の空調設備の改修	H22 ゆめ半島千葉国体の開催	H22 ゆめ半島千葉大会の開催
H24 図書持ち出し防止装置の設置	H25 福岡公民館の新築	H28 中央公民館の耐震化・避難用外階段新設
H29 図書館耐震補強工事設計	R1 東金・九十九里波乗りハーフマラソン大会の実施	
2. 豊かなこころを育む学校教育の充実		
H13 教育用コンピュータの導入(小中学校)	H14 「みどり学級」の拡充	H14 学校図書室への司書配置
H14 学校給食施設の整備(中学校)	H15 預かり保育の実施(幼稚園)	H15 3歳児教育の拡大(幼稚園)
H15 小学校の建て替え(東小)	H16 幼稚園の建て替え(正気幼稚園)	H18 安全安心管理システムの導入
H18 小学校プールの建て替え(東小学校)	H19 幼稚園建て替え(城西幼稚園)	H20 小・中学校の特別支援教育支援員の導入
H21 小学校の耐震対策(源小、豊成小)	H22 小学校の新築(正気小)	H22 小学校の耐震対策(鶴嶺小、福岡小体育館)
H24 小学校の新築(城西小)	H24 学習指導要領改訂に伴う備品などの購入	H24 自転車通学用ヘルメットの購入補助
H25 中学校の改築(東金中)	H25 小中学校不適応児童生徒の支援	H26 小中学校タブレット機器導入事業
H26 小学校の教育環境改善対策(豊成小、丘山小、源小トイレ改修)	H27 幼稚園の環境改善対策(全園トイレ洋式化)	
H29 中学校の環境改善対策(トイレ改修)	R1 経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者への補助	
3. 次世代を担う青少年の健全育成		
H13 青少年ボランティア海外派遣事業	H19 放課後子ども教室	
4. 地域に根ざした文化の振興		
H13 東金文化会館の改修	R1 東金市デジタル歴史館の作成	
5. 市民の国際理解を深める交流の促進		
H13 外国語指導助手による国際理解教育の実施	H28 友好都市との交流	H29 姉妹都市との交流
R1 多文化共生事業の推進		

第2章 めくもりのあるまちづくりー健康・福祉ー

【まちづくりの基本的方向】

保健・医療・福祉の充実と連携を進展し、市民が生涯を通じてこころも体も健康で、地域で支えあいながら人生をおくることができるまち。市民一人ひとりの気持ちを大切にすめくもりのあるまちをめざします。

【計画項目】

1. 市民の健康を支える保健・医療の充実
2. 地域で支えあう思いやりのある社会福祉の推進
3. 安心して生み育てる子育て支援の充実
4. 生きがいと安心の高齢者施策の充実
5. 安心して暮らせる社会保障の充実

(1) 総括

■ 保健・医療

「保健」については、保健福祉サービスをきめ細かく総合的・効果的に行う拠点として平成14年度に保健福祉センター（ふれあいセンター）を開設しました。「とうがね健康プラン21」を策定し、市民の健康づくりのために情報提供の充実に努めるとともに、各種検診事業を実施し、がん検診受診者数などは着実に増加し、一定の効果が現れていると言えます。

また、「医療」については、三次救急医療機関「東千葉メディカルセンター」が平成26年度に開設され、本市のみならず周辺地域も含めた医療体制の充実に寄与しています。しかし、当初予定された平成28年度のフルオープンについては、医師・看護師等の確保などが困難であったことから令和7年度に延期され、将来的な経営不安があります。将来にわたって充実した医療体制を確保していく上では、この病院の経営の健全化に向けた取組みに注力していくことが求められています。

■ 社会福祉

「社会福祉」については、地域福祉の充実に向け、ボランティアセンターが主体となりボランティア間の情報交換やボランティア育成に努めています。また、個々の障がいの特性やニーズに応じて必要な支援を受けられるよう障がい福祉サービスの給付や支援を実施しましたが、障がい福祉サービスの利用者数は増加しており、事業所数や支援員確保の課題とともに、専門的な相談支援機関などのさらに充実した支援体制が求められています。

■ 子育て支援

「子育て支援」については、平成30年に妊娠から子育て期まで切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を開設しました。また、保育環境の充実として保育所の延長保育や一時保育などを実施してきましたが、保育ニーズの増大・多様化に対応するため認定こども園化を含めた幼保再編を進めていく必要があります。平成11年度に開始した学童クラブについても、各小学校区ごとに開設し拡充を図ってきましたが、利用者は増加傾向にあり待機児童が発生しています。児童虐待については、平成21年度に設置した「要保護児童対策地域協議会」を中心に対応してきましたが、事案の増加・多様化・複雑化への対応が課題となっています。

■ 高齢者施策

「高齢者施策」については、平成 18 年度に市が直接運営する地域包括支援センターを開設し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。また、ケアタクシー事業の開始や高齢者のみの世帯への緊急通報装置の貸与などを実施しました。高齢者支援施策、特に介護保険サービスを必要とする人は増加しており、地域包括支援センターの組織運営も含めてその対応が課題となっています。

■ 社会保障の充実

「社会保障の充実」については、生活保護事務について、適正な生活保護を行うとともに、被保護者の自立に向けた支援を行いました。平成 31 年 4 月時点において、県内 37 市中 6 番目に生活保護の受給率が高い自治体となっています。

[評価・指標（第 4 期基本計画）]

主要施策（今後の展開）については、23 施策の全てが着手済みであり、担当課による自己点検・評価の達成度は平均 79.3 点（100 点満点中）となっています。成果指標（課長目標）については、計画策定時から数値が向上している指標の割合が 87.5%となっており、取組みが着実に進められたものと評価できます。

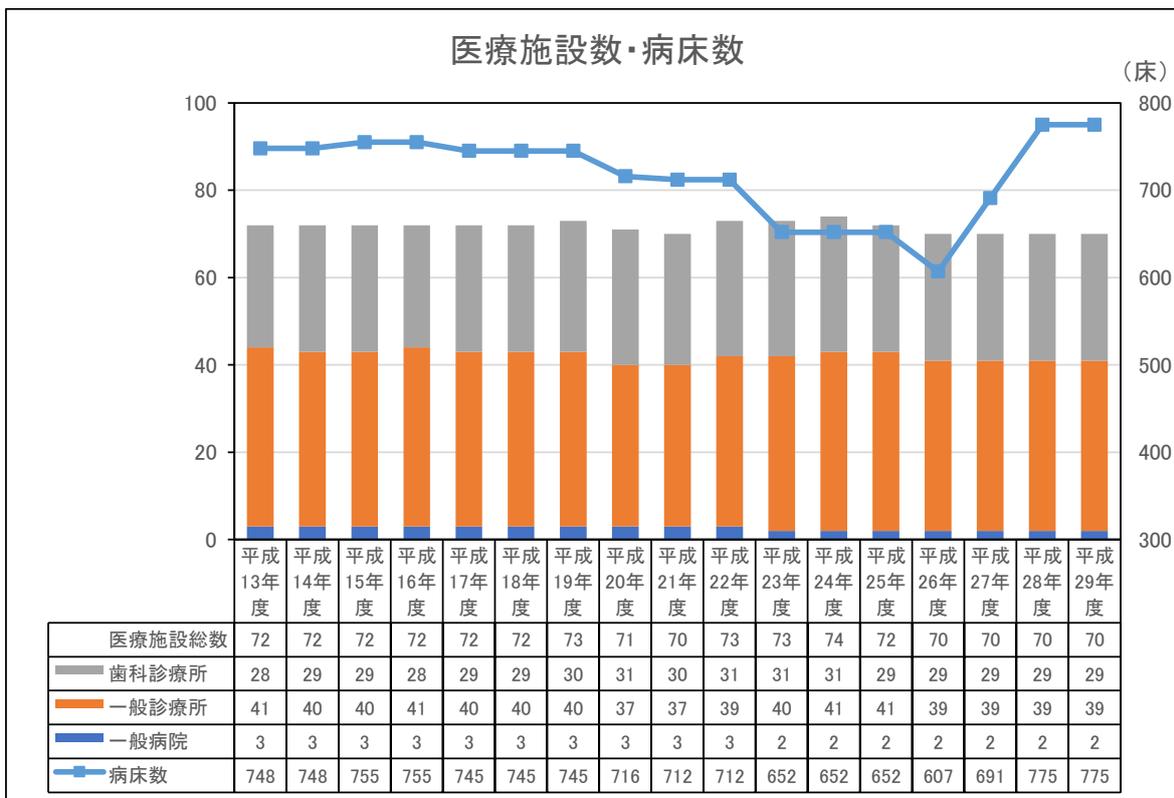
しかし、市民アンケートでは、「保健・医療の充実」、「子育て支援の充実」、「高齢者施策の充実」に対する重要度は常に高いことから、引き続き取組みを進めていく必要があります。

<成果指標（課長目標）>

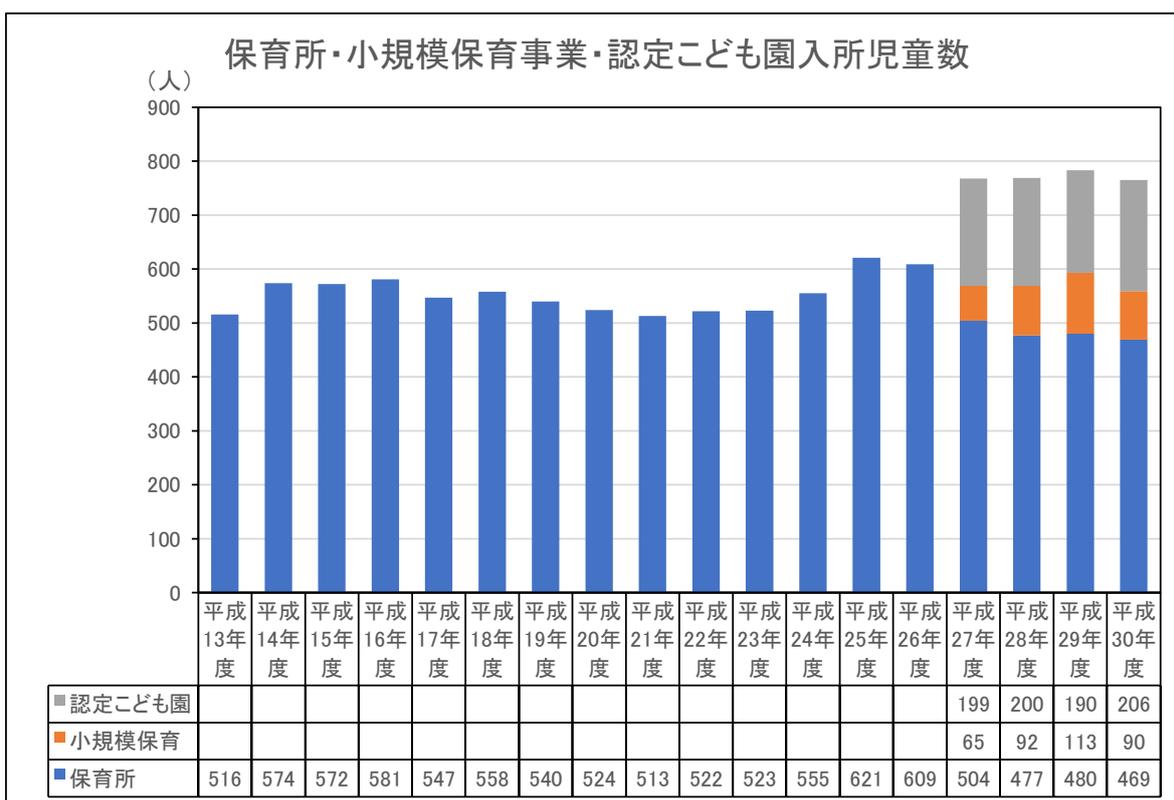
	目標値達成	目標値未達成 だが数値向上	目標値未達成	計
1. 市民の健康を支える保健・医療の充実	2	2	1	5
3. 安心して生み育てる子育て支援の充実	3	2	0	5
4. 生きがいと安心の高齢者施策の充実	0	1	1	2
5. 安心して暮らせる社会保障の充実	4	0	0	4
計	9	5	2	16

(2) 関連する指標の推移 (東金市統計書より)

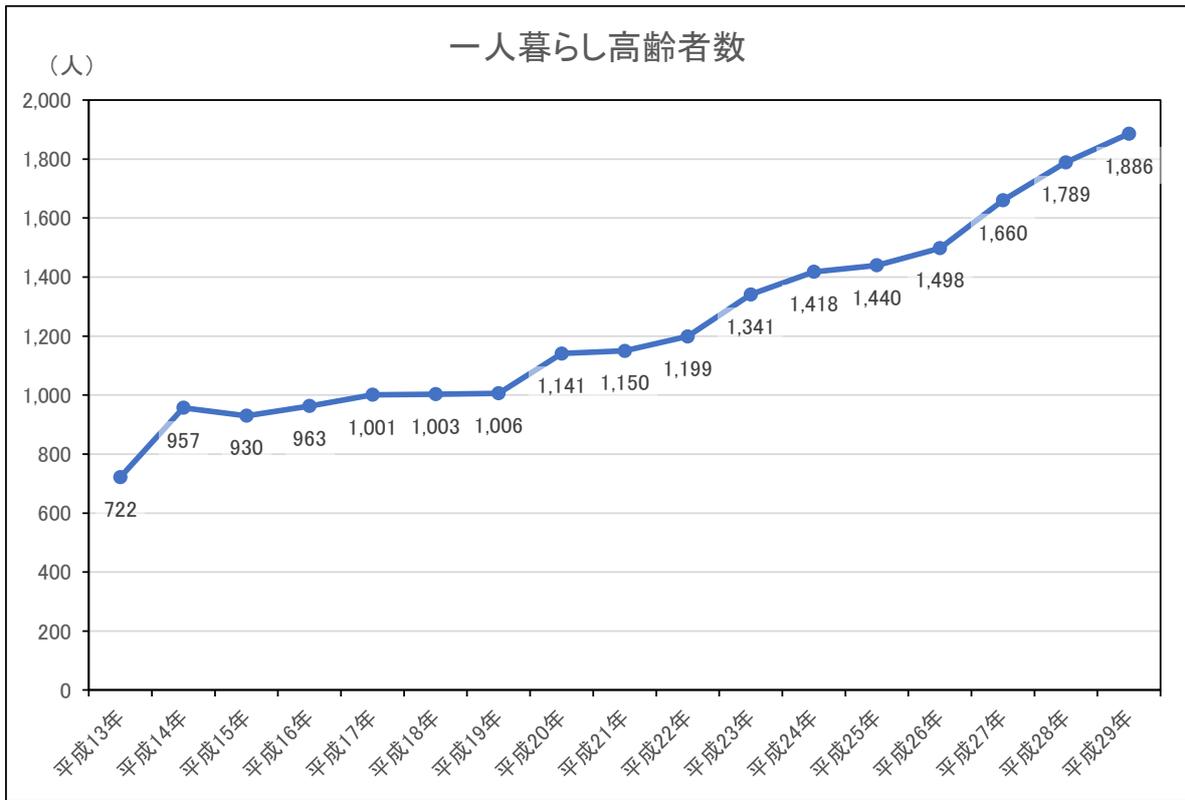
■ 保健・医療



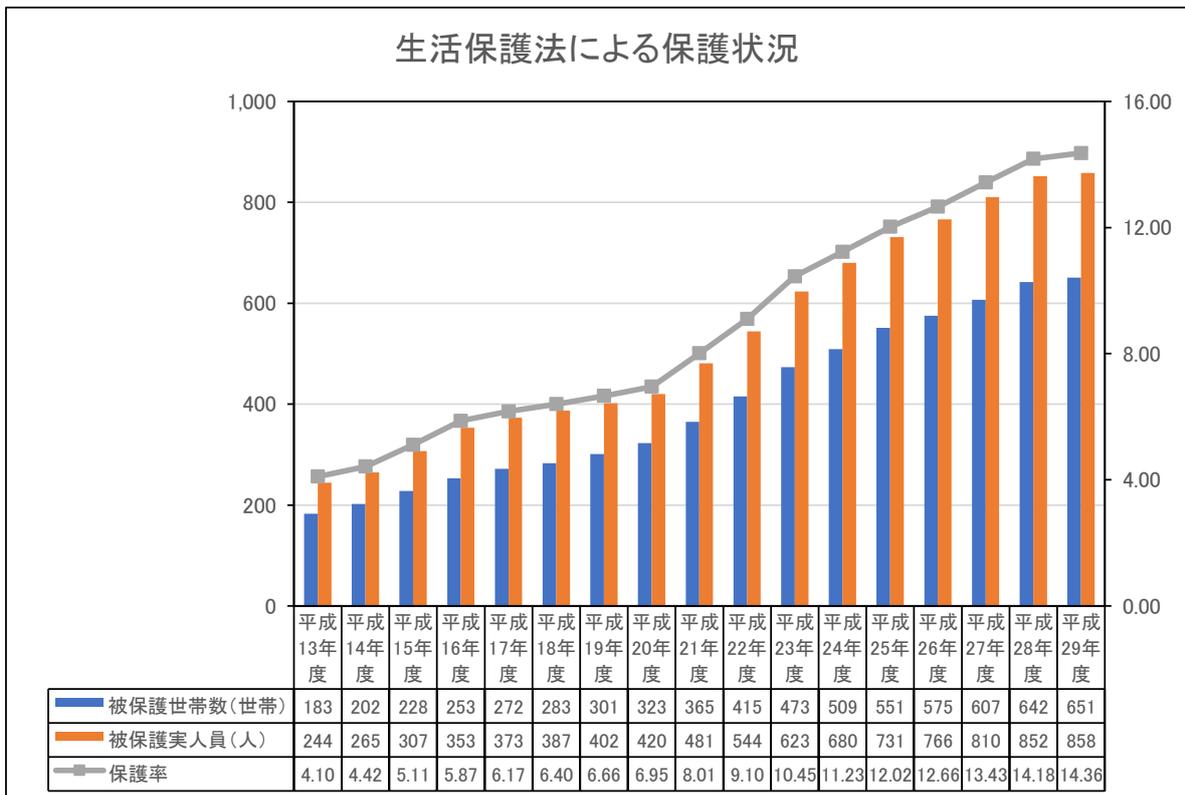
■ 子育て支援



■ 高齢者施策



■ 社会保障の充実



(3) 計画期間中の主な取組み

1. 市民の健康を支える保健・医療の充実		
H13 保健福祉センターの活用	H14 健康増進計画「とうがね健康プラン21」の策定	H18 健康生活コーディネート事業
H22 東金九十九里地域医療センターの事業推進	H23 子宮頸がん等ワクチン接種費用の全額助成	H24 検診を活用した健康づくりモデル事業
H24 東千葉メディカルセンター建設の推進	H24 看護師修学資金貸し付け事業	H25 看護師修学資金貸し付け事業
H26 健康マイレージ事業	H26 東千葉メディカルセンターの運営に対する支援	R1 骨髄移植ドナー支援の開始
2. 地域で支えあう思いやりのある社会福祉の推進		
H16 福祉作業所への助成(小規模福祉作業所への助成)	H19 障害者就労支援事業	H25 障がい者虐待防止対策
H27 障がい者の通所サービス等の利用に係る交通費の助成	H28 地域福祉計画の策定	
3. 安心して生み育てる子育て支援の充実		
H13 学童保育の実施	H13 延長保育の実施(保育所)	H14 東金市母子保健計画の策定
H14 一時的保育事業の実施(第4保育所)	H15 児童館の開設	H16 ミニ子育て支援センター事業
H16 次世代育成支援行動計画策定事業	H18 ファミリー・サポート・センター事業	H18 保育所の耐震対策(第1保育所診断)
H19 ひとり親家庭支援事業	H20 妊婦・乳児一般健康診査の拡充	H21 保育所の安全安心管理システム
H23 市内私立保育所の施設整備の補助	H24 病後児保育施設整備の補助	H24 放課後児童対策の充実(預かり時間の延長)
H26 子ども・子育て支援事業計画策定事業	H27 学童クラブの増設(鶉嶺小学校)	H27 認定こども園に対する施設整備事業費補助
H28 認定こども園の推進	H30 市内私立保育所の施設整備の補助	H30 子育て世代包括支援センターの開設
H30 産後ケア事業(宿泊型)	R1 高校生等の入院に係る医療費助成の創設	
4. 生きがいと安心の高齢者施策の充実		
H13 介護保険相談員の設置	H13 家族介護への慰労	H14 訪問介護員(ホームヘルパー)の養成
H14 緊急通報装置設置事業	H15 高齢者のインフルエンザ予防接種への助成	H16 東金市在宅介護支援センター運営事業
H18 地域包括支援センター運営事業	H22 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用の助成	H29 小規模多機能型居宅介護事業所
R1 介護予防ロコモ体操の普及		
5. 安心して暮らせる社会保障の充実		
H13 介護保険以外による生活支援	H20 後期高齢者医療特別会計の創設	

第3章 うるおいのあるまちづくりー環境ー

【まちづくりの基本的方向】

雄蛇ヶ池や八鶴湖、山武杉の森など、豊かな自然環境を誇れるまち。市民一人ひとりが、市内に残された多様な自然環境の大切さを認識し、豊かな自然の恵みを日常生活やまちづくりに活かしながら、これを守り、育てる、うるおいのあるまちをめざします。

【計画項目】

1. 豊かな自然の保護と新たなみどりの空間の創出
2. 水質汚染と公害の防止
3. 環境にやさしい社会システムの確立

(1) 総括

■ 自然の保護と新たなみどりの空間の創出

「自然の保護と新たなみどりの空間の創出」については、都市公園・都市緑地の維持管理に努め、協働による公園管理について11市民団体と協定を締結しました。設置後40年を経過する都市公園等も多く、公園施設の老朽化が進んでおり、施設管理を計画的に行うための公園施設長寿命化計画の策定に取り組む必要があります。

■ 水質汚染の防止

「水質汚染の防止」については、合併浄化槽への転換補助制度の創設・推進や農業集落排水事業において既に供用開始されていた上谷地区、嶺南正気西部地区に加えて、松之郷地区（平成16年度）、福岡地区（平成21年度）が供用開始されたことにより汚水処理人口普及率が向上しています。また、下水道施設長寿命化計画に基づき、下水道施設の長寿命化に向けた整備・維持補修を計画的に実施しましたが、引き続き、ライフサイクルコストの最小化の視点も踏まえながら、下水道施設の整備・維持補修を計画的かつ効率的に進めていく必要があります。

また、公害の防止については、県や警察と連携した不法投棄監視パトロールを実施することで、不法投棄行為は年々減少しています。

■ 環境にやさしい社会システムの確立

「環境にやさしい社会システムの確立」については、平成12年度に認証取得したISO14001により市役所内に環境マネジメントシステムを構築し、環境への配慮を進めるとともに、市民・事業者に対する環境意識の啓発のために環境イベント「アースセレブレーション」などを実施しました。

また、平成20年度に、ごみの減量化やリサイクルの促進、財政上の歳入確保などを目的として、家庭ごみについて有料指定袋を導入しました。ごみの減量化について、リサイクル倉庫の利用促進や生ごみ処理機購入に対する補助金などの取組みを進めましたが、ごみ袋の有料化により一時減少した後、横ばい傾向が続いています。その他に、今後、予定されるごみ処理施設の移転に向け清掃組合当局との綿密な連携が必要となっています。

[評価・指標（第4期基本計画）]

主要施策（今後の展開）については、全13施策中、12施策が着手済みであり、担当課による自己点検・評価の達成度は平均73.1点（100点満点中）となっています。成果指標（課長目標）については、9の指標を設定していましたが、計画策定時から数値が向上した指標は

4指標であり、その割合は44.4%に留まっています。数値が向上していない指標としては、ごみの減量化に関する「市民一人当たりのごみ排出量」、「ごみのリサイクル率」、「リサイクル倉庫による資源回収量」、「生ごみ処理機購入補助金の交付件数」、「資源ごみ回収運動による回収量」となっています。

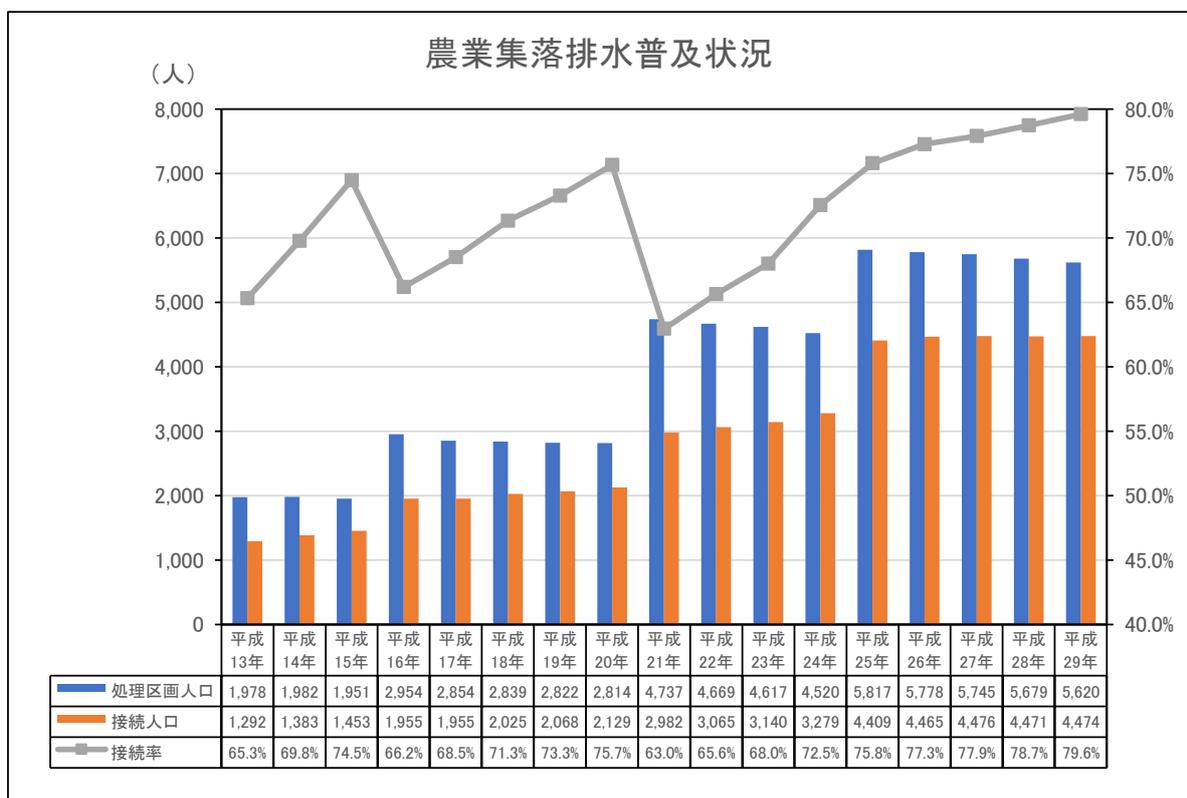
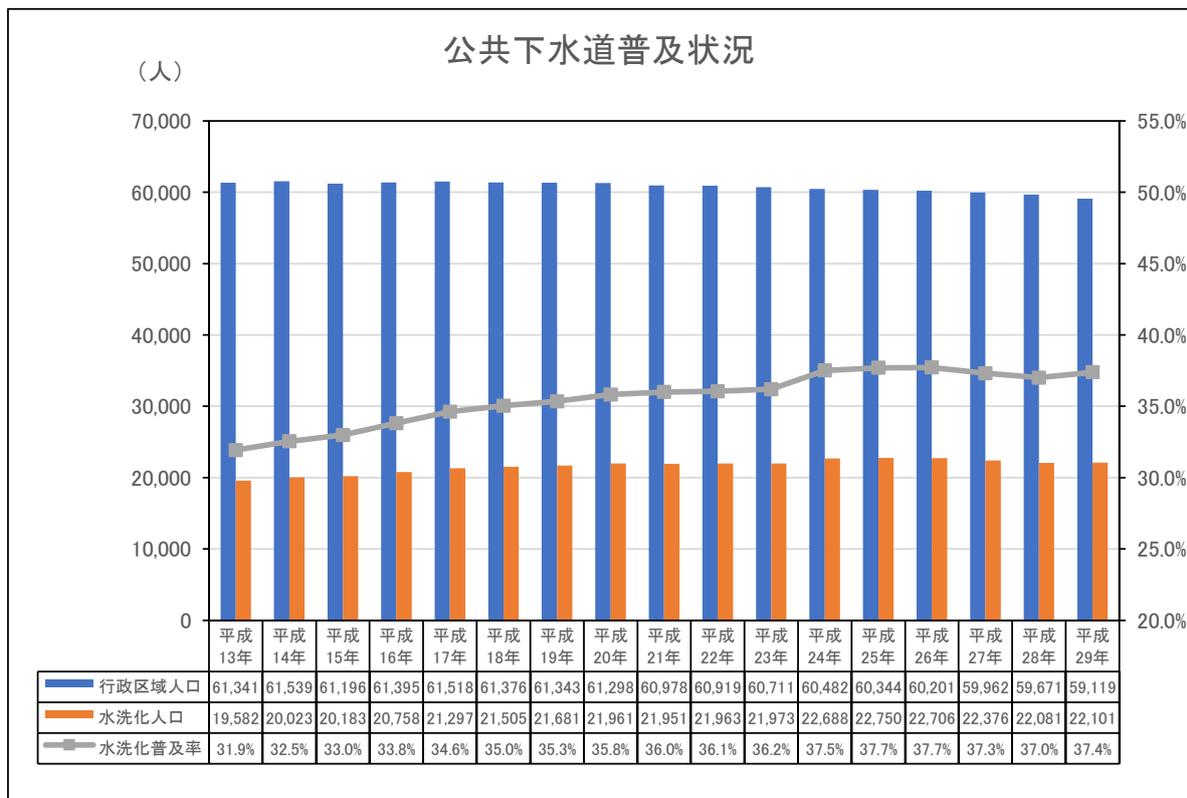
また、市民アンケートでは「資源回収を活用している」市民の割合が69.0%であり、「家庭ごみの処理・リサイクル」に対する満足度は高いことから、ごみの収集・処理などについて市は十分な体制を整えています。ごみの減量化についてさらなる啓発が必要な状況と考えられます。

<成果指標（課長目標）>

	目標値達成	目標値未達成 だが数値向上	目標値未達成	計
1. 豊かな自然の保護と新たなみどりの空間の創出	1	0	0	1
2. 水質汚染と公害の防止	2	0	0	2
3. 環境にやさしい社会システムの確立	0	1	5	6
計	3	1	5	9

(2) 関連する指標の推移 (東金市統計書より)

■ 水質汚染の防止



(3) 計画期間中の主な取組み

1. 豊かな自然の保護と新たな緑の空間の創出		
H13 鴫ヶ嶺の森公園の整備	H14 環境マップの発行	H15 丑ヶ池周辺の親水公園整備
H23 まちづくり推進事業(市民との協働による公園づくり)	H28 公園の整備(八坂台地区・日吉台地区)	R1 公園の整備(八坂台地区)
2. 水質汚染と公害の防止		
H13 公共下水道事業の推進	H13 浄化槽設置への補助	H13 不法投棄等の防止の強化
H14 農業集落排水事業の推進(松之郷地区)	H18 農業集落排水事業の推進(福岡地区)	H20 浄化センターの改修
H20 ごみ集積施設整備に対する補助	H22 浄化センターの改築更新	H26 合併処理浄化槽の維持管理費などへの助成
3. 環境にやさしい社会システムの確立		
H13 環境啓発イベントの開催	H13 エコバックの活用促進	H14 東金版環境ISOの普及(子ども版環境マネジメントシステム)
H18 生ごみ堆肥化装置の設置促進	H20 資源ごみリサイクルの促進	H22 太陽光パネル・LED蛍光灯の設置
H22 資源ごみ回収保管庫の設置助成	H24 太陽光発電設備の設置助成	H29 住宅用省エネルギー設備の設置に対する補助

第4章 活力のあるまちづくりー産業・雇用ー

【まちづくりの基本的方向】

市民がいきいきと働き、さまざまな産業が力強い発展を遂げるまち。それぞれの産業が持つ力を最大限に発揮することで、九十九里地域の中核都市として活力のあるまちをめざします。

【計画項目】

1. 生産性の高い農業経営の確立
2. 豊かなまちをつくる工業の振興
3. 魅力とにぎわいのある商業・サービス業の振興
4. 社会経済の変化に対応した新たな産業の展開
5. 魅力ある観光レクリエーションの振興
6. 安心して働くための勤労者対策の促進

(1) 総括

■ 農業

「農業」については、市内の農業者は高齢化・減少傾向にあり、農地面積も年々減少の傾向を示している中で、農地中間管理機構を通じた地域担い手への農地集積の推進や「田んぼの学校」、「市民農園」での農業交流の促進を図り新たな就農者を増やすための取組みを進めました。

また、緑花木センターを解散し、平成26年に「みのりの郷東金」を設置、平成27年に道の駅登録を行っています。「みのりの郷東金」を活用した農産物直売を通して意欲のある農業者の育成及び6次産業化による農業生産物等の需要拡大を図ることも必要となっています。

■ 工業

「工業」については、千葉東テクノグリーンパーク（小野山田企業団地）への企業誘致を進めてきた結果、平成30年度に全ての区画（51区画36社）が成約済みとなりました。東金JCT周辺は千葉東金道路や圏央道の結節点であり、今後の成長性の高いエリアであることから、千葉県など関係機関とともに有効な土地利用について協力・連携していくことが重要となっています。

■ 商業・サービス業

「商業・サービス業」については、商店街のにぎわい創出・環境整備等、地域経済活性化のため商工団体へ支援や中小企業の経営基盤安定のため預託融資制度の活用や利子補給などを実施していますが、本市の事業所数及び従業者数について、現行総合計画の期間内でともに20%程度減少している状況です。

■ 新たな産業の展開

「新たな産業の展開」としては、「みのりの郷東金」を農業・商業・工業者が有機的なつながりを持ち、来場者との交流の中で、観光を含めた地域資源の情報をあまねく広めていく場として、平成29年度に新たに観光インフォメーション（観光案内所）を設置しました。また、地場産物を使用した地域ブランドの創出のための施設を整備し、6次産業化の推進を行い地域の活性化を図っています。

■ 観光

「観光」については、観光行事として定着している「桜まつり」や「YASSA フェスティバル」について、毎年内容を見直しながら継続して実施しています。また、本市の観光入込客数は、現行総合計画期間内で2倍以上に増加しており、特に平成27年から大幅な伸びを見せています。これは「みのりの郷東金」のオープンと、その道の駅登録が大きな要因となっていることから、「みのりの郷東金」の活用方法についての検討が重要となります。

■ 勤労者対策

「勤労者対策」としては、地域の雇用の安定を図るため平成17年度から地域職業相談室の運営を国と市で協力して行っています。また、山武市、大網白里市、横芝光町、芝山町と連携し、合同就職相談会を実施し求職活動の支援につないでいます。

[評価・指標（第4期基本計画）]

主要施策（今後の展開）については、全26施策中、25施策が着手済みではありますが、担当課による自己点検・評価の達成度は平均60.6点（100点満点中）と6つの基本方針の中で一番低い数値となります。成果指標（課長目標）については、計画策定時から数値が向上している指標の割合が72.7%となっていますが、そのうち目標を達成した指標は1つのみとなっています。

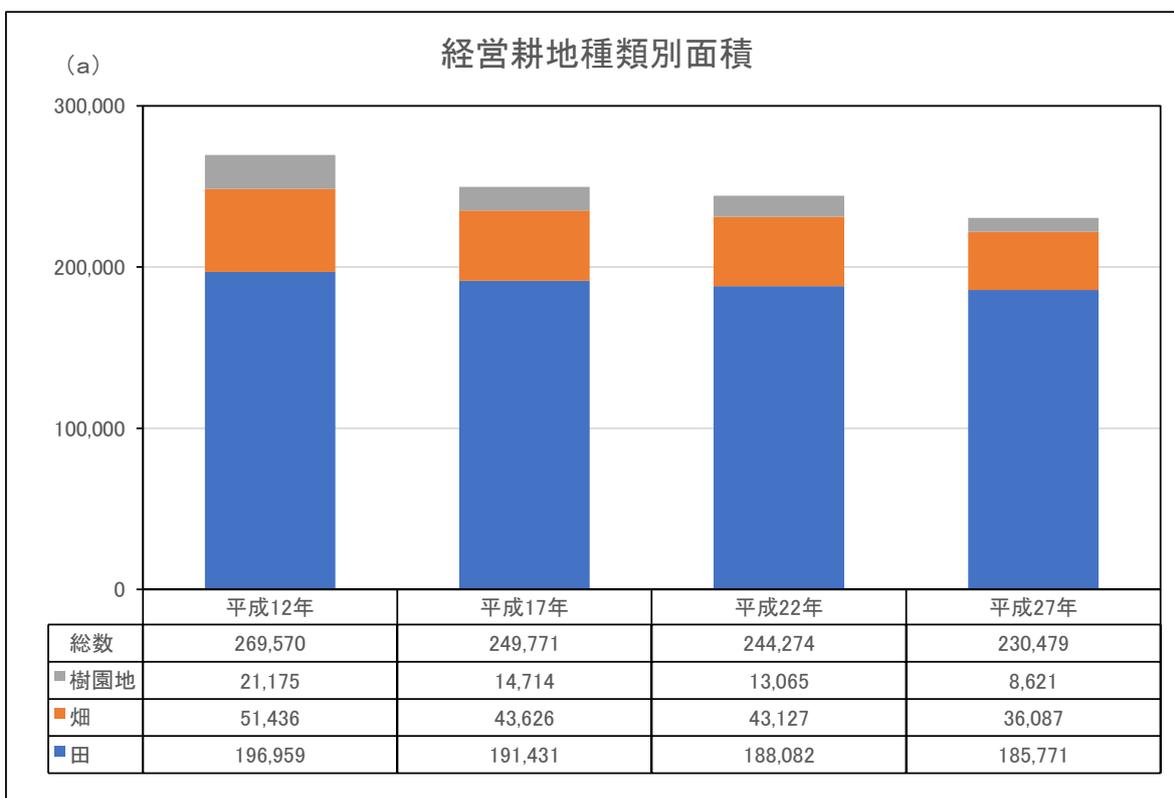
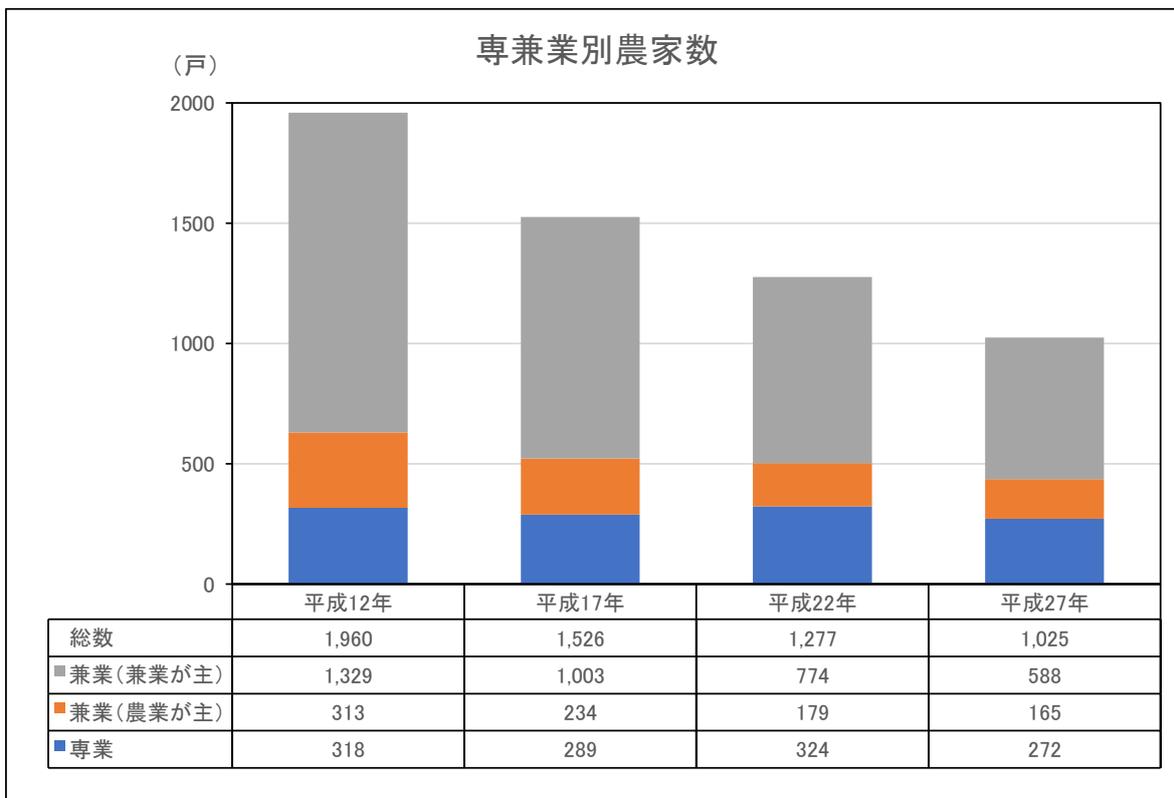
また、市民アンケートでは「市に活気があると感じている」市民の割合が26.2%と低く、「活気がないと感じている」市民の割合が67.4%となっています。満足度についても、「商業・サービス業の振興」、「新たな産業と地域活性化」、「勤労者対策の促進」で50%以下となっており、活気のあるまちをいかに実現するか、今後さらに検討を進める必要があります。

<成果指標（課長目標）>

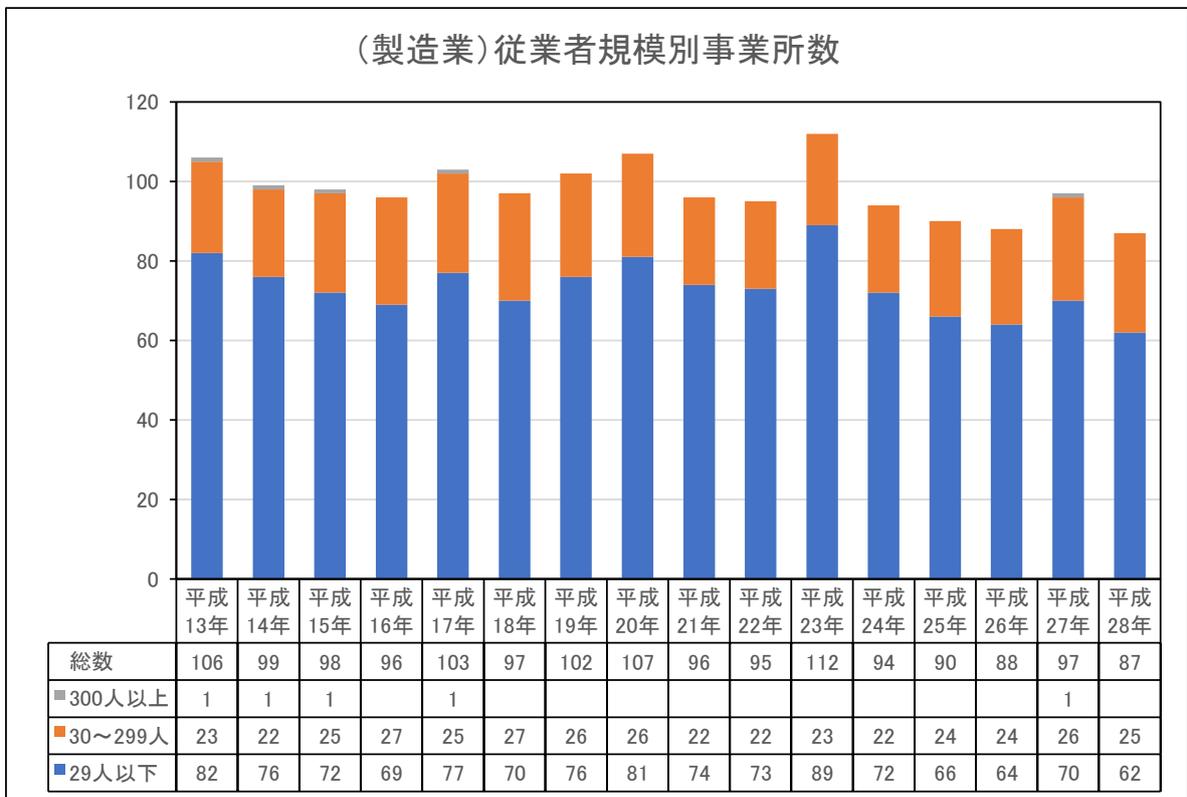
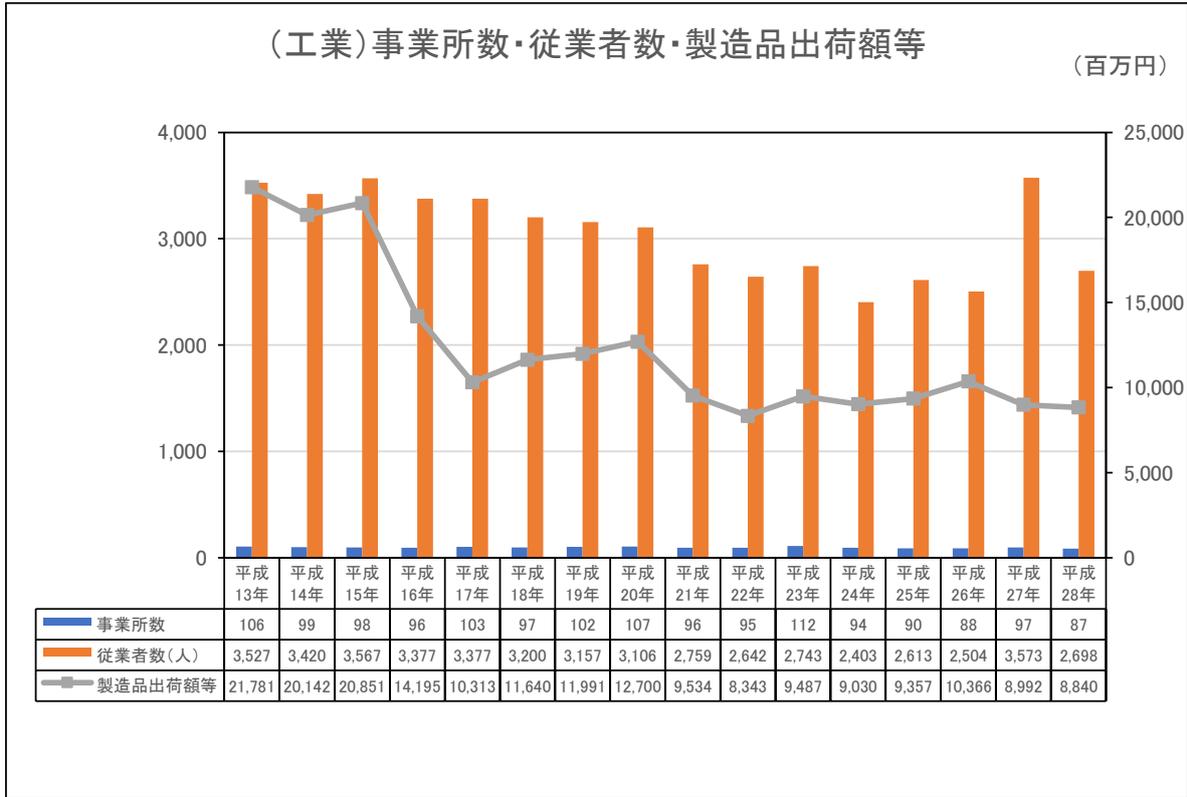
	目標値達成	目標値未達成 だが数値向上	目標値未達成	計
1. 生産性の高い農業経営の確立	0	0	2	2
2. 豊かなまちをつくる工業の振興	0	1	0	1
3. 魅力とにぎわいのある商業・サービス業の振興	0	3	0	3
4. 社会経済の変化に対応した新たな産業の展開	0	1	0	1
5. 魅力ある観光レクリエーションの振興	1	0	0	1
6. 安心して働くための勤労者対策の促進	0	2	1	3
計	1	7	3	11

(2) 関連する指標の推移 (東金市統計書より)

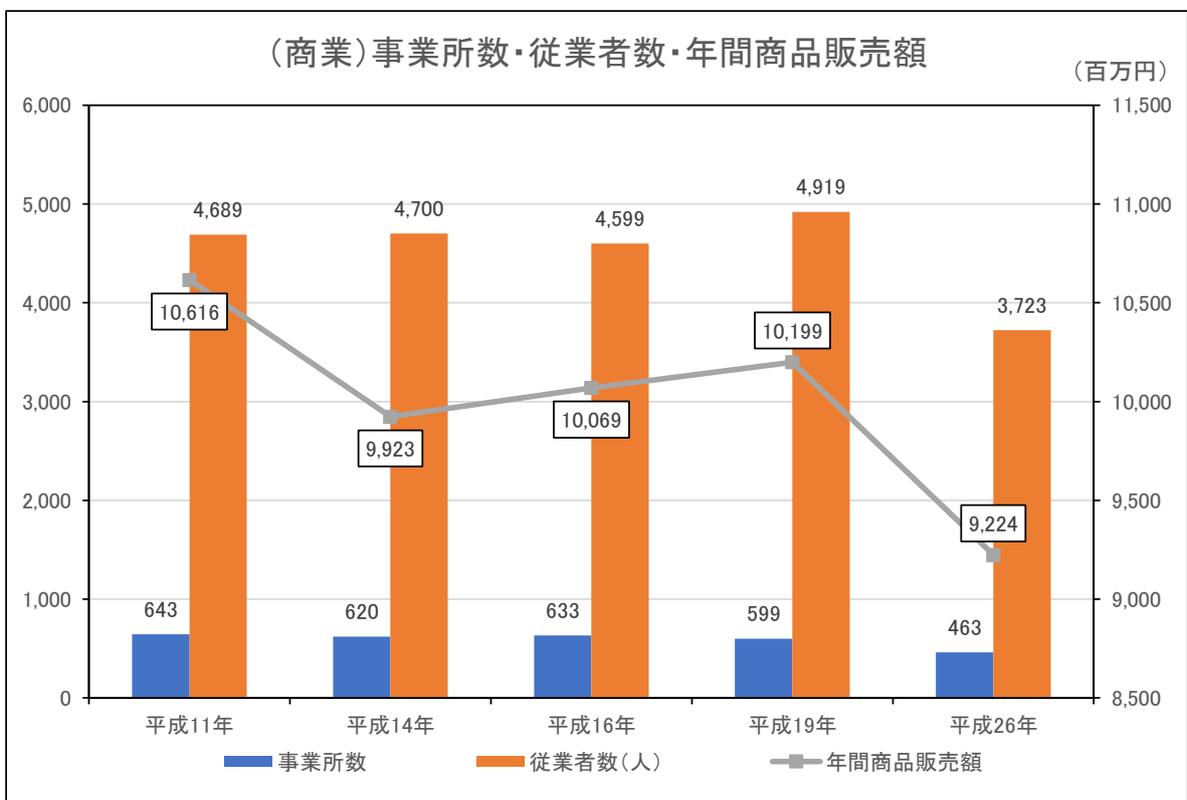
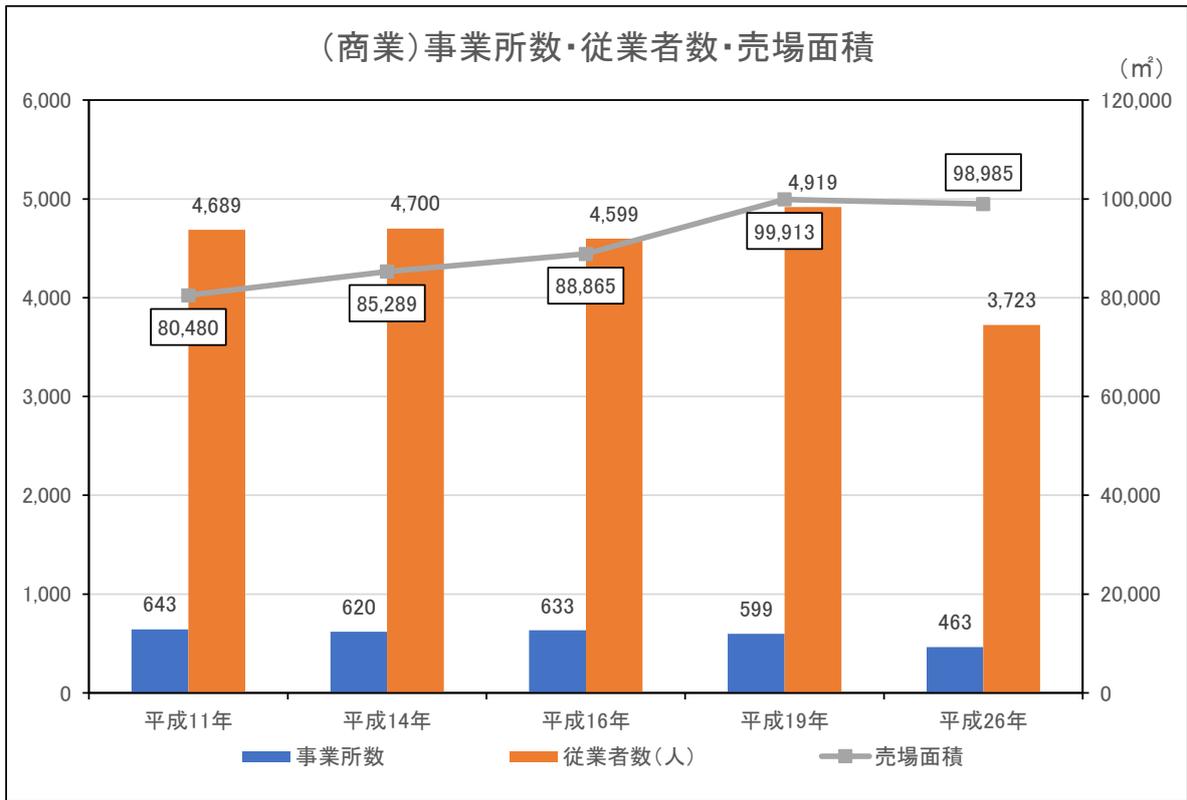
■ 農業



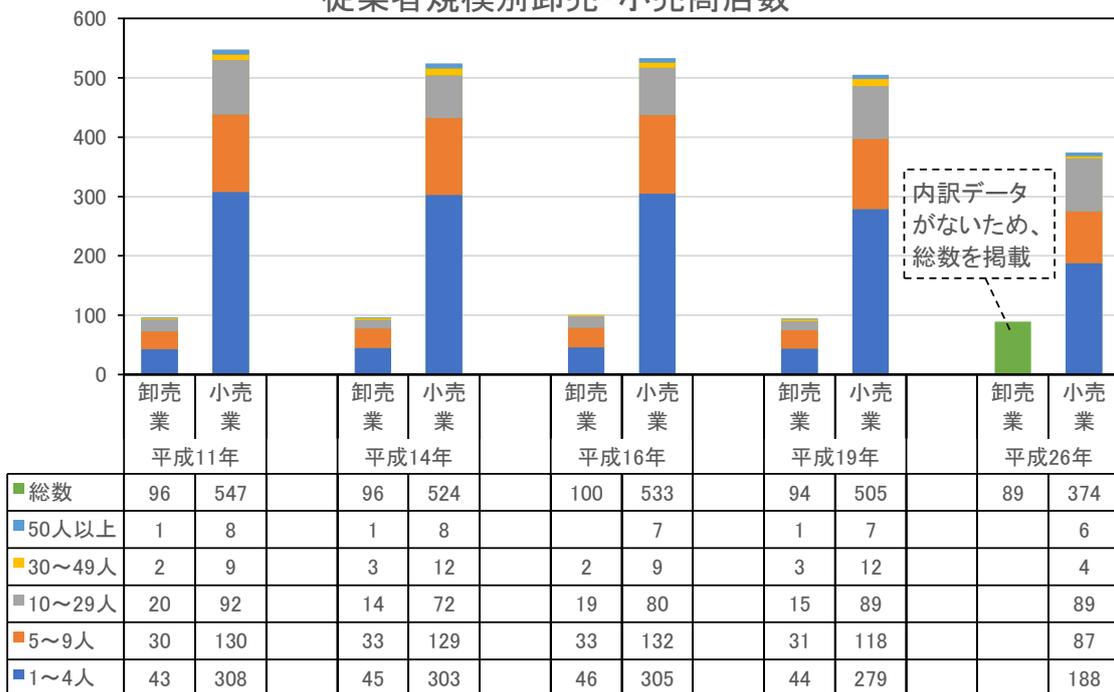
■ 工業



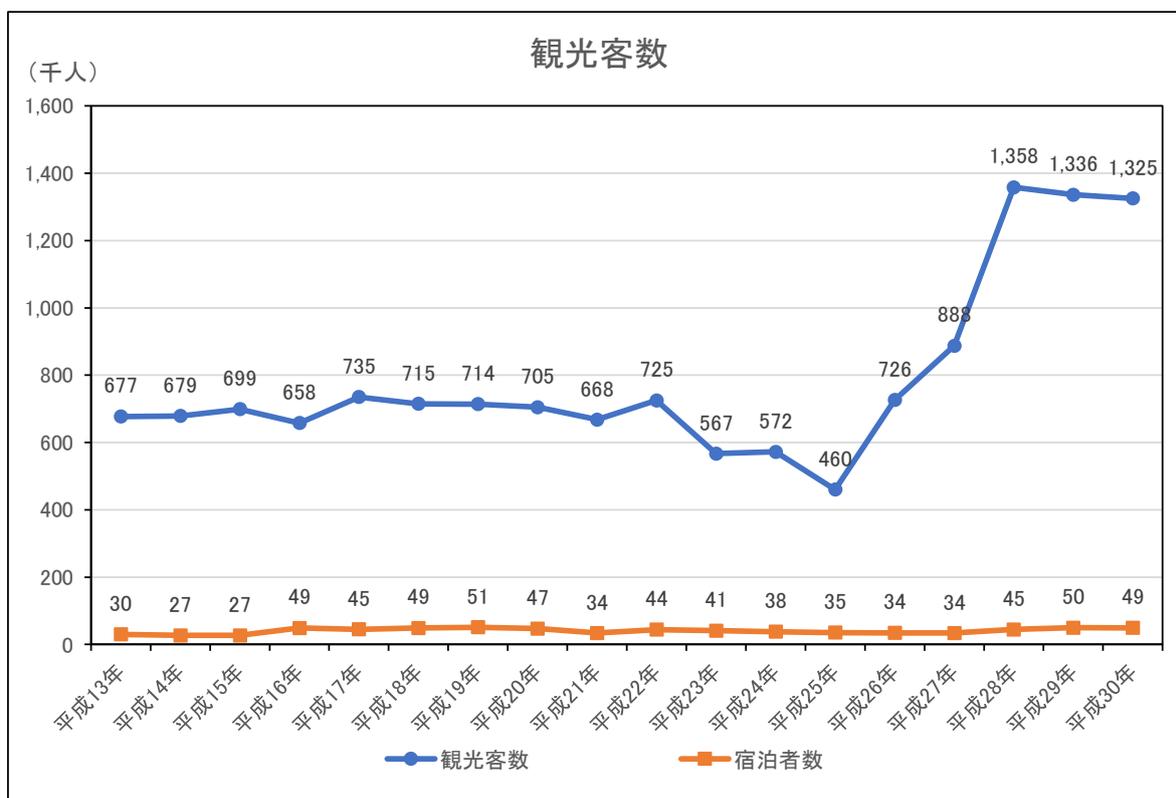
■ 商業・サービス業



従業者規模別卸売・小売商店数



■ 観光



(3) 計画期間中の主な取組み

1. 生産性の高い農業経営の確立		
H13 県営ほ場整備事業の促進	H15 東金市農産物等直売所整備促進事業	H15 排水路の改修
H16 自立農業経営者育成事業	H17 サンプスギ林再生事業	H19 農道の整備
H21 農地の流動化や農業経営の近代化	H23 かんがい排水事業	H24 農用地利用集積事業
H24 園芸施設リフォーム補助	H25 加工用米作付農家補助	H26 耕作放棄地の再生利用による飼料作物の生産助成
H27 国営両総土地改良事業負担金	H28 新規就農者への給付金の給付(青年就農給付事業)	R1 多面的機能発揮促進事業
2. 豊かなまちをつくる工業の振興		
H13 中小企業資金融資事業	H13 千葉東テクノグリーンパーク事業の推進	H13 企業誘致の推進
H19 企業の資金繰りの支援(融資枠の拡大)	H25 経営改善貸付利子補給	
3. 魅力とにぎわいのある商業・サービス業の振興		
H13 「中心市街地活性化基本計画」の促進と推進	H13 商工団体への支援	H14 「東金市経済活性化研究会」の開催
H14 中心市街地活性化計画策定事業	H21 プレミアム商品券の発行事業	H23 元気アップ計画策定事業
H25 産業交流拠点施設(みのりの郷)設置事業	H26 「みのりの郷東金」の管理運営	H27 「みのりの郷東金」の道の駅としての開設
H27 サンピアの耐震改修工事補助	H28 東金駅西口地区におけるにぎわいの創出(地方創生事業)	
4. 社会経済の変化に対応した新たな産業の展開		
H15 新産業交流プラザ開設補助	R1 道の駅「みのりの郷東金」の管理運営(6次産業化含む)	
5. 魅力ある観光レクリエーションの振興		
H13 観光基本計画の策定	H25 家康来訪400年記念事業	H27 観光農業生産施設の設置に対する補助
H28 八鶴湖や雄蛇ヶ池などの観光資源の整備(湖底浚渫)	H29 八鶴湖湖畔の植栽改良	H29 観光情報の発信(インターネット)
6. 安心して働くための勤労者対策の促進		
H17 地域職業相談室開設	H22 雇用機会の創出(緊急雇用創出事業の活用)	

第5章 安全で快適なまちづくりー都市基盤ー

【まちづくりの基本的方向】

良好な市街地と人にやさしい交通体系、上水道・ガスなどの都市基盤、これらが整い、ゆとりある快適な生活がおくれるまち。災害に強く、犯罪のない、市民が安心して暮らせるまち。一人ひとりの市民の視点にたった、利便性が高い、安全で快適なまちをめざします。

【計画項目】

1. 市民生活を支える公共交通の充実
2. 暮らしと産業を支える道路の整備
3. 良好な市街地の形成
4. 快適な暮らしを支える都市基盤の整備
5. 総合的な治水対策の推進
6. 安全な暮らしを支える防災・防犯・交通安全体制の確立

(1) 総括

■ 公共交通

「公共交通」については、JR 東金線の利便性の向上（増便等）は市民要望も強く、市としても近隣自治体とともに「JR 東金線複線化促進協議会」を設置し、JR 東日本に対して要望活動を行っていますが、採算性の面などから増便等にはつながっていない一方で、都市部への交通手段として高速バスの利用者が増加しています。

また、市内バス路線の廃止や運行本数の減少など、日常生活のための移動手段の確保ために、平成 13 年度から市内循環バス（福岡路線）の運行を開始し、その後、平成 22 年度に豊成路線の運行を開始しました。平成 26 年度からは、デマンド型乗合タクシーの市内全域運行も開始しています。

■ 道路

「道路」については、市道 0118 号線（押堀北幸谷）・0117 号線（福俵）・0150 号線（薄島）・0151 号線（東中）・0152 号線（東中）などの道路改良工事、市道 0214 号線（北之幸谷）・0122 号線（菱沼）・0126 号線（堀上）などの歩道整備工事を行い、道路利用者の安全性、利便性を高めています。また、「首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会」に構成員の一員として活動し、平成 25 年に東金 JCT から木更津東 IC 間が暫定 2 車線で開通しました。

■ 市街地の形成

「市街地の形成」については、平成 13 年度に策定した「東金市都市計画マスタープラン」により進めています。また、平成 2 年度から実施していた田間土地区画整理事業が平成 29 年度に完了（清算決了）し、施行面積 63ha の良好な市街地が形成されました。

その他、近年、全国的に課題となっている空家対策について、平成 29 年度に東金市空家等対策計画を策定し、対策に取り組んでいます。

また、平成 27 年度から土地に関する基礎データを明確にするため、地籍調査を実施しました。

■ 都市基盤の整備

「都市基盤の整備」については、安全なガス供給のため老朽化したガス管入れ替え工事の終了に続いて、耐震化のされていない本支管の耐震化工事を進めています。安全で安心な水

の安定供給をめざして、県内水道の統合・広域化に向けて協議を進めています。また、災害に強いまちづくりを推進するための、木造住宅の耐震診断や耐震補強工事について補助事業を行いました。

■ 治水対策

「治水対策」については、小野川・滝川の河川氾濫を防止するために整備改修工事を実施していましたが、現在、休止状態で整備の進捗がない状況となっています。地域排水路の整備については、地元要望や現地調査により検討を行い、排水不良の改善を推進しています。

■ 防災

「防災」については、地域の防災力や市民一人ひとりの意識を高めるために自主防災組織の設置促進や活動支援、防災意識の啓発などに取り組み、77 区中 36 区に自主防災組織が設置されました。また、平成 26 年度に地域防災計画を改定し、災害対応が円滑に行われるよう関係機関との連絡体制を見直しましたが、令和元年度の台風・大雨被害状況を踏まえ、さらなる見直しが必要となってきています。他にも、地域防災力の要である消防団員は減少しており、団員確保のため、団員 OB などによる機能別消防団員制度をつくとともに、平成 30 年度に城西国際大学と連携し、機能別学生消防団員制度を導入しました。

■ 防犯・交通安全

「防犯・交通安全」については、地域ぐるみでの犯罪防止をめざして、自主防犯パトロール隊支援の実施や不審者情報メール（平成 30 年度に防災メールに統合）の配信なども行っています。

また、令和元年度から田間中央公園内において防犯ボックスの運用を開始し、近隣住民、警察との連携を図りながら防犯力の強化・充実に努めています。

[評価・指標（第 4 期基本計画）]

主要施策（今後の展開）については、26 施策の全てが着手済みであり、担当課による自己点検・評価の達成度は平均 76.0 点（100 点満点中）となっています。成果指標（課長目標）については、計画策定時から数値が向上している指標の割合が 76.9%となっており、取組みが着実に進められたものと評価できます。

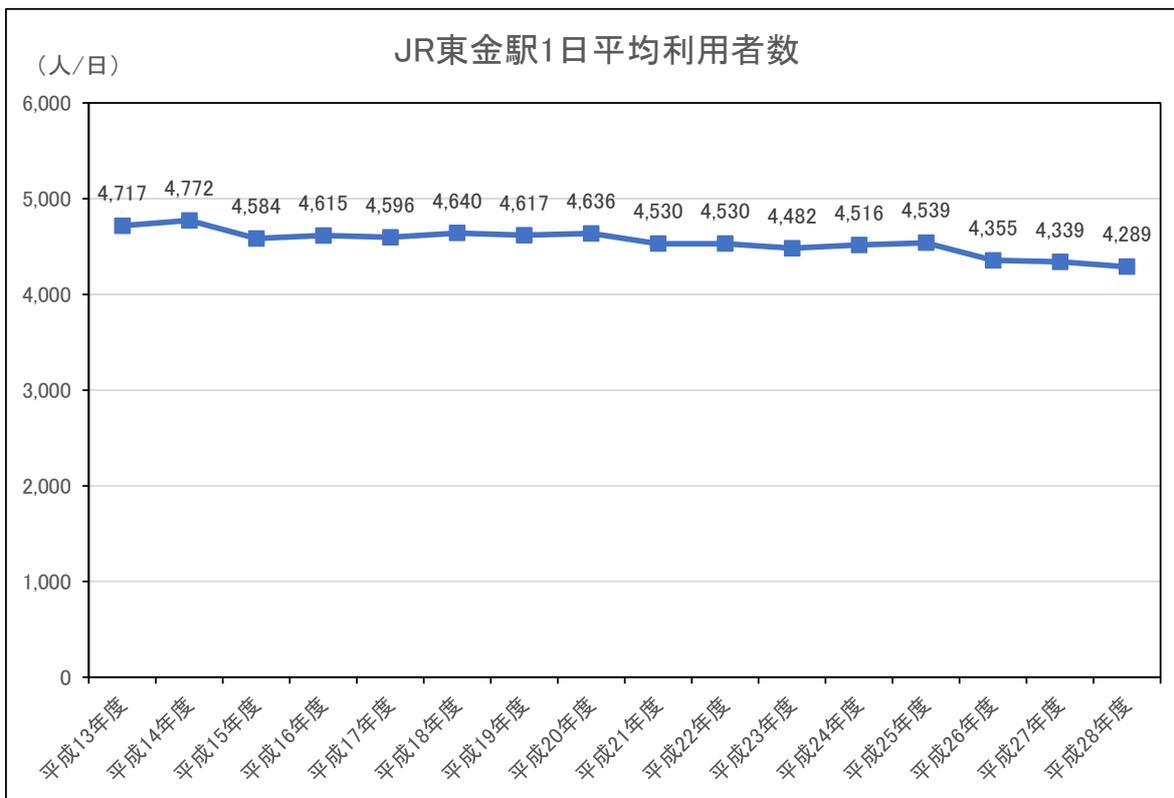
しかし、市民アンケートでは、「公共交通の充実」について満足度が低く、重要度が高いことから市民ニーズが高い施策となっています。

<成果指標（課長目標）>

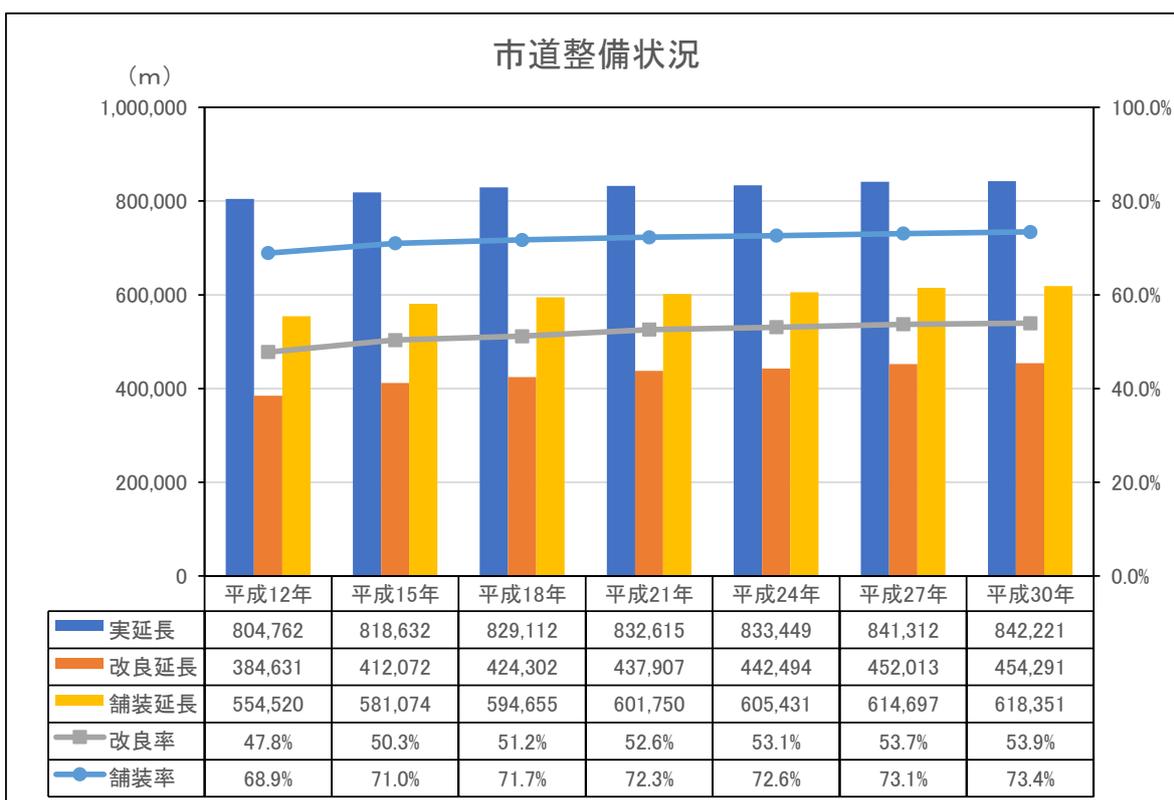
	目標値達成	目標値未達成 だが数値向上	目標値未達成	計
1. 市民生活を支える公共交通の充実	3	1	1	5
2. 暮らしと産業を支える道路の整備	0	0	1	1
3. 良好な市街地の形成	0	1	0	1
4. 快適な暮らしを支える都市基盤の整備	0	1	0	1
6. 安全な暮らしを支える防災・防犯・交通安全体制の確立	3	1	1	5
計	6	4	3	13

(2) 関連する指標の推移 (東金市統計書より)

■ 公共交通



■ 道路



(3) 計画期間中の主な取組み

1. 市民生活を支える公共交通の充実		
H13 市内循環バスの導入	H21 JR東金駅のバリアフリー化	H23 総合交通計画の策定
H25 デマンド型乗り合いタクシーの実証運行	H25 JR東金駅東金線ホームバリアフリー整備事業	H26 デマンド型乗り合いタクシーの市内全域運行
H29 JR求名駅バリアフリー化に向けた調査	H30 バス路線確保対策事業(福岡路線バス購入)	R1 市内循環バスの導入土日運行開始
2. 暮らしと産業を支える道路の整備		
H13 生活道路の改良(0118号線)	H14 広域農道の整備	H16 大関道路用地取得事業
H19 道路の整備(0117号線)	H20 広瀬橋の改修および歩道の整備	H24 市道の舗装補修
H26 市道の改修整備(0151号線)	H27 市道の改修や整備(0122・0126号線)	H29 市道の改修や整備(0152号線)
3. 良好な市街地の形成		
H13 「都市計画マスタープラン」の策定	H14 東金駅西口まちづくり育成事業	H15 協働のまちづくり事業
H25 住宅リフォーム補助	H28 空家状況の把握実態調査	H30 空家等対策事業
R1 都市計画マスタープランの改訂		
4. 快適な暮らしを支える都市基盤の整備		
H13 ガス経年管の敷設替え	H22 木造住宅の耐震診断補助	H22 公共施設の耐震診断(図書館、中央公民館、市第1庁舎)
H25 砂郷地区のまちづくり推進	H25 地籍調査事業	
5. 総合的な治水対策の推進		
H13 小野川の河川改修	H18 調整池管理費事業	H19 河川改修事業
H20 田間住宅地の治水対策	H23 治水対策(小野川)	H25 治水対策(北幸谷側)
6. 安全な暮らしを支える防犯・防災・交通安全体制の確立		
H13 防災行政無線設置事業	H14 防災拠点の整備充実	H15 交通安全施設の整備
H16 総合防犯対策事業	H18 防犯活動支援事業	H19 防犯対策事業
H20 全国瞬時警報システム(J-ALERT)の整備	H21 洪水ハザードマップの作成	H23 木造住宅の耐震診断補助
H23 消防自動車の購入	H24 市内2公園に耐震性貯水槽を設置	H24 防災ガイドブックの作成
H24 自主防災組織の設立や運営の補助	H24 被災者住宅再建資金利子補給事業	H24 民間賃貸住宅借り上げ事業
H24 小学校児童就学支援事業(東日本大震災関係)	H25 防犯等LED化	H25 地域防災計画の改定
H27 災害時避難計画の策定	H27 地域防災リーダーの育成支援	H28 観光・防災Wi-Fiステーション設置
H28 デジタル防災行政無線施設実施設計委託・防災気象情報分析業務委託		
H28 災害時避難行動要支援者への支援のための名簿管理システム導入		H29 防災行政無線の改修
H29 公衆無線LAN環境の整備	R1 防犯ボックスの運用開始	

第6章 計画の実現に向けて

【計画項目】

1. 交流と連帯のまちづくり
2. 市民参画による行政の展開
3. 効果的で効率的な行政運営の推進
4. 広域行政の推進
5. 情報化への対応
6. 地方創生の実現に向けて

(1) 総括

■ 交流と連帯のまちづくり

「交流と連帯のまちづくり」について、地域コミュニティ活動の重要な役割を果たす地元区に対して区長活動費、区役員活動費及び事務費を交付するとともに、(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ活動に必要な備品整備の補助金を交付することにより、各区のコミュニティ活動の支援を行っています。区加入率の維持のために、市民課窓口において区加入啓発のためのリーフレット及び区加入届を配布するなどしていますが、個人の価値観の多様化等により区加入率は減少傾向にあります。

■ 市民参画による行政の展開

「市民参画による行政の展開」については、東金市協働のまちづくり指針に基づき、地区まちづくり協議会や市民活動団体が実施する公益的な事業を支援する「市民提案型協働事業」を継続して実施するとともに、平成28年度からは青少年が主体的に取り組むまちづくり活動を支援する「青少年まちづくり活動」を実施しています。

また、開かれた行政運営を行うために、「広報とうがね」やホームページ、令和元年度からはインスタグラムなどの新しいツールを利用することで、必要な市政情報を、できる限り多くの市民に提供できるように努めてきました。市に対する市民の意見を聞くと同時に、市の施策や事業がどの程度周知、理解されているかを把握するために平成14年度から毎年、市民アンケートを実施しています。

■ 効率的な行政運営

「効率的な行政運営」については、第1期から第4期までそれぞれの基本計画の期間内に、第1次財政リフレッシュ・プラン(平成15年度～平成17年度)、第2次財政リフレッシュ・プラン(平成18～平成22年度)、行財政リフレッシュ・プラン(平成23年度～平成27年度)、第2次行財政リフレッシュ・プラン(平成28年度～平成30年度)を策定し、各プランに基づき行財政改革に取り組みました。特に、第2次財政リフレッシュ・プランにおいて、任期付職員や臨時・非常勤職員を有効活用することや組織の改編により行政のスリム化を図るなどして一定の成果を残すことができました。また、行政改革の観点から平成15年度にISO9001の認証を取得し、全庁体制で業務改善を行いました。さらに、公共施設の老朽化や人口減少による規模的余剰などに対応するため、国の要請を受け、東金市公共施設等総合管理計画を平成29年3月に策定しました。

行政組織については、事務の効率化や施策の充実を図るために随時見直しています。また、人事評価については平成28年度より「能力評価」と「業績評価」の2本立てにより実施して

います。人事評価の結果は、任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用するよう求められており、具体的な活用方法を構築する必要があります。

■ 広域行政

「広域行政」については、広域による行政執行が効率的である事務について、山武郡市広域行政組合、東金市外三市町清掃組合、山武郡市広域水道企業団により、共同処理を行っています。

また、千葉市を中心とした都市圏の一員としての就労、生活の場などを圏域で完結することを目的とする共同施策の検討を行っており、従来の山武郡市内の連携とは異なる圏域での連携の検討をはじめたところです。

■ 情報化

「情報化」については、平成 13 年度にコンピュータの職員一人 1 台体制を構築し情報化を推進しました。

また、平成 26 年度から個人番号（マイナンバー）制度導入に係る既存基幹系システムの改修及び情報提供ネットワークシステム（番号連携サーバ・中間サーバ等）の接続準備を行い、平成 29 年 7 月に本稼動しました。基幹系システム等のサーバ機器については、災害時でもデータを滅失・毀損しないよう、更新時にクラウド化等を進めています。

また、今後の更新等の際はデータ入力業務等を自動化する RPA や AI を活用したシステムの導入などを検討していく必要があります。

■ 地方創生

「地方創生」については、平成 27 年度に策定した「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略（九十九里地域広域連携）」により、新たに地方創生の取組みが始まることとなりました。地方創生交付金を利用した具体的な取組みでは、主に東金市の魅力の情報発信として、九十九里町と連携して情報誌「るるぶ」の発行やインターネットを利用した情報発信（広報動画「とうがね News」配信等）などを実施し、情報提供は行えましたが、実際の移住定住に結びついたかは把握できておらず、令和元年度で 1 期目の期間が終了することから、本市としてどのような方向性で地方創生を進めていくかの検討が必要となります。

[評価・指標（第 4 期基本計画）]

主要施策（今後の展開）については、30 施策の全てが着手済みであり、担当課による自己点検・評価の達成度は平均 76.7 点（100 点満点中）となっています。成果指標（課長目標）については、計画策定時から数値が向上した指標の割合は 50.0%に留まっています。数値が向上していない指標としては、地域に係る「自治会の加入率」、「地域活動に参加している市民の割合」、「市民提案型協働事業実施数」及び人口に係る「年間転入数」、「U・I ターンによる移住者数」となっており、地域コミュニティの活性化や人口減少が課題となっていることがうかがえます。

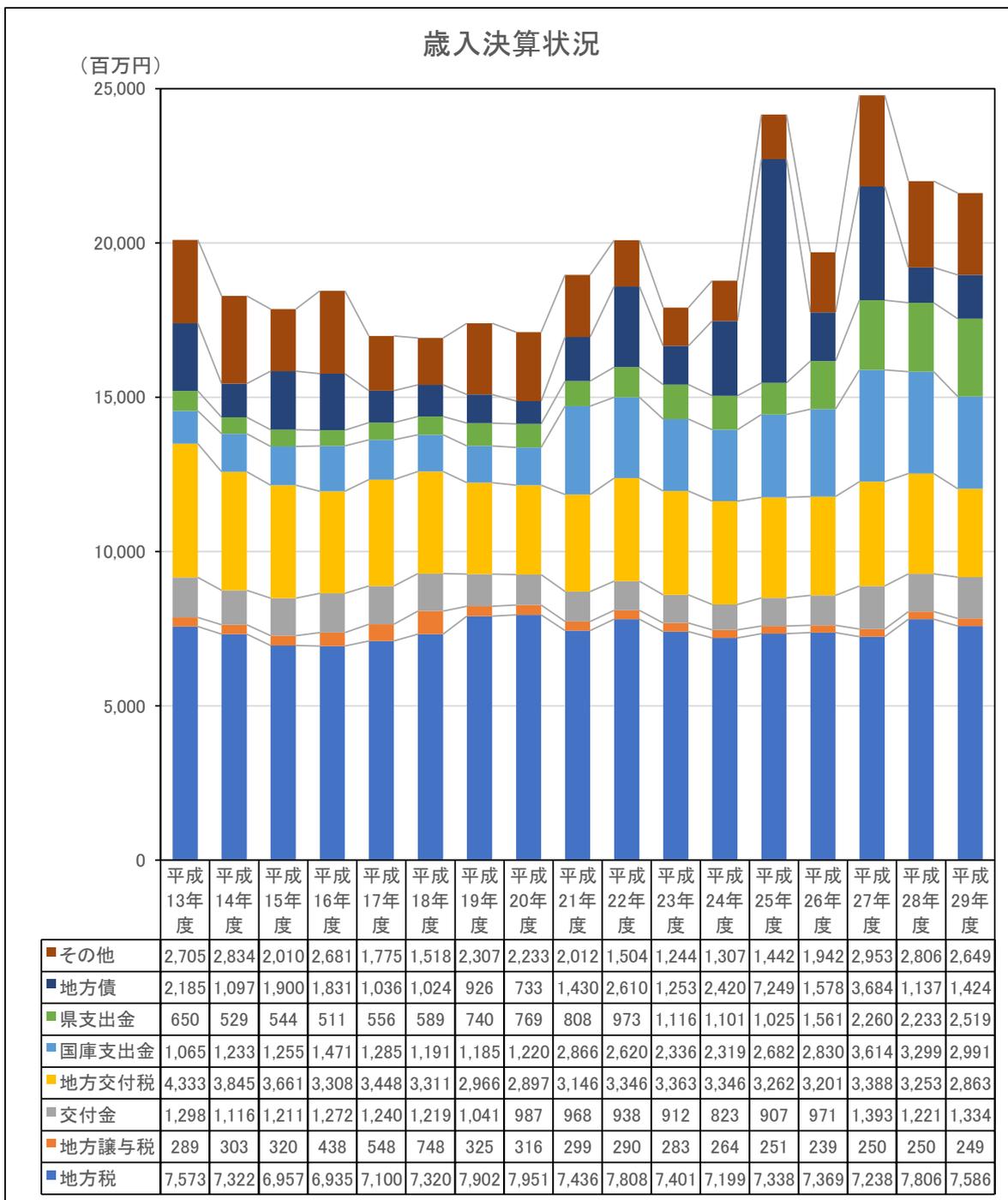
<成果指標（課長目標）>

	目標値達成	目標値未達成 だが数値向上	目標値未達成	計
1. 交流と連帯のまちづくり	0	0	1	1
2. 市民参画による行政の展開	1	0	2	3

3. 効果的で効率的な行政運営の推進	1	1	0	2
6. 地方創生の実現に向けて	1	1	2	4
計	3	2	5	10

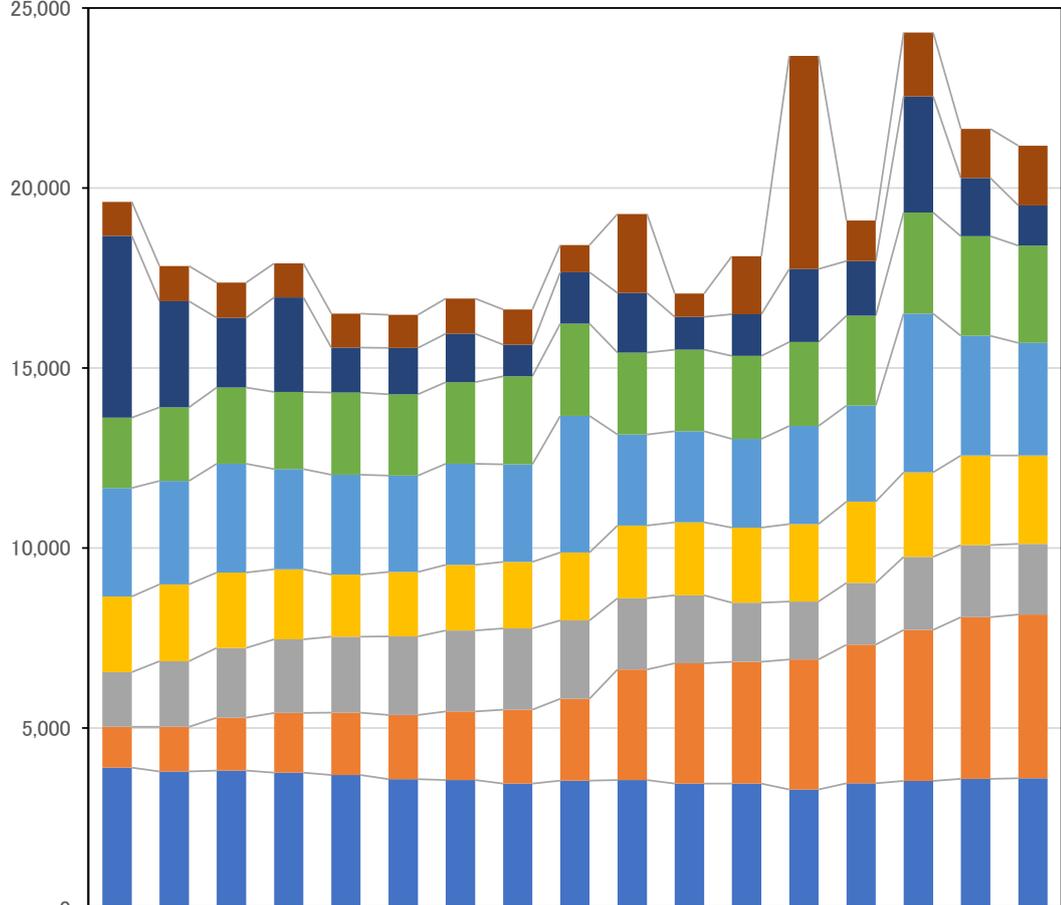
(2) 関連する指標の推移 (東金市統計書より)

■ 効率的な行政運営



性質別歳出決算状況

(百万円)
25,000



	平成 13年 度	平成 14年 度	平成 15年 度	平成 16年 度	平成 17年 度	平成 18年 度	平成 19年 度	平成 20年 度	平成 21年 度	平成 22年 度	平成 23年 度	平成 24年 度	平成 25年 度	平成 26年 度	平成 27年 度	平成 28年 度	平成 29年 度
■ その他	939	978	978	944	943	917	982	980	758	2,195	649	1,602	5,925	1,122	1,777	1,360	1,659
■ 投資的経費	5,053	2,942	1,933	2,630	1,248	1,291	1,341	882	1,426	1,654	909	1,163	2,028	1,524	3,227	1,618	1,120
■ 操出金	1,947	2,051	2,116	2,141	2,283	2,253	2,271	2,443	2,561	2,277	2,265	2,305	2,327	2,489	2,804	2,765	2,698
■ 補助費等	3,013	2,871	3,028	2,782	2,774	2,676	2,809	2,707	3,794	2,526	2,532	2,463	2,723	2,669	4,408	3,328	3,127
■ 物件費	2,106	2,132	2,088	1,949	1,730	1,790	1,818	1,849	1,882	2,024	2,025	2,083	2,158	2,257	2,351	2,488	2,459
■ 公債費	1,521	1,826	1,940	2,046	2,109	2,182	2,251	2,259	2,181	1,979	1,887	1,645	1,608	1,717	2,026	2,005	1,962
■ 扶助費	1,133	1,237	1,471	1,651	1,730	1,787	1,906	2,048	2,274	3,068	3,340	3,379	3,611	3,855	4,196	4,486	4,545
■ 人件費	3,897	3,793	3,816	3,764	3,695	3,577	3,552	3,459	3,537	3,555	3,459	3,457	3,291	3,461	3,528	3,591	3,607

(3) 計画期間中の主な取組み

1. 交流と連携のまちづくり		
H13 コミュニティ会館整備への補助	H13 ボランティア情報誌の発行	H14 市民活動保健事業
H15 男女共同参画プランの策定	H24 市民活動サポート広場の設置	H25 市民との協働推進
2. 市民参画による行政の展開		
H15 市制施行50周年記念誌の発行	H24 利用しやすいホームページに改定	H25 市勢要覧の作成
H27 市広報紙「広報とうがね」の発行回数増		
3. 効果的で効率的な行財政運営の推進		
H14 ISO9001の導入	H14 行政評価の導入	H15 東金市民アンケート調査実施事業
H27 ふるさと納税の推進	H27 第4期基本計画の策定	H27 マスコットキャラクターの活用
H28 東金市版地方創生の推進	H28 移住定住に向けた住宅取得に対する補助	H29 東金市版地方創生の推進
R1 次期総合計画の策定		
4. 広域行政の推進		
H14 市町村合併の研究		
5. 情報化への対応		
H13 住民基本台帳ネットワークシステム	H13 IT講習会の開催	H13 市役所内における情報システム開発事業
H15 住民基本台帳ネットワークシステム	H15 総合行政ネットワーク整備事業	H28 マイナンバー情報連携に備えた情報セキュリティ対策の強化

參考資料